New2016F51HyperMonster 製品登録書き換えマニュアル

＜注意＞

① 「２New2016F51HyperMonster 製品」の各ファイルは、次のすべてのソフトで正常に作動します。
Microsoft Office Excel 2024　６４ビット版
Microsoft Office Excel 2021　６４ビット版
Microsoft Office Excel 2019　６４ビット版
Microsoft Office Excel 2016　６４ビット版

しかし、
Microsoft Office Excel 2024　３２ビット版
Microsoft Office Excel 2021　３２ビット版
Microsoft Office Excel 2019　３２ビット版
Microsoft Office Excel 2016　３２ビット版
では作動しません。

②「New2016F51HyperMonster 製品」の各ファイルは、Windows 版上での Excel で作成したもので Mac 版上での Excel では正常に作動することは保証しかねます。また、ssd 搭載のパソコンでは、パーテションをおこない C,D の２つのドライブを割り当てないと登録して使用することはできません。

③「New2016F51HyperMonster 製品」の各ファイルで、ファイルに組み込まれたマクロ機能を用いて、データーを次々変更しながら、印刷フォームの印刷範囲を PDF の添付ファイルとして該当者または該当組織にメール送信する処理を行う場合、お使いのパソコンには、必ず Microsoft の Outlook がインストールされている必要があります。

④ 「New2016F51HyperMonster 製品」のファイルの登録・ファイル名書き換え処理が完了した後、各ファイルを立ち上げると、立ち上げ画面に

＜注意＞

著作権法に基づき、このシステムを著作権者に無断で使用すること及び複写すること並びに頒布することを禁止します。また、システムを無断で改変すること等も禁止します。

の注意書きが表示されますが、ファイルの登録・ファイル名書き換え処理が完了された方は、著作権者に使用が許可されたものとみなします。

＜目次＞

１．New2016F51HyperMonster 製品登録書き換え
実行前に行うべきこと・・・P2
（１）ファイルのダウンロードとフォルダーの作成およびファイルの保存　・・・・・・・・・・・・・・・・・・・P2
（２）デスプレー設定の詳細設定等・・P2
①Windows11 の場合・・・P3
②Windows10 の場合・・・P8
（３）マクロのセキュリティ設定等・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・P12
① Exel2021 でおこなう場合・・P12
② Exel2019 でおこなう場合・・P14
③ Exel2016 でおこなう場合・・P16

２．New2016F51HyperMonster 製品登録書き換え実行手順　・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・P19

３．各エクセルファイルのユーザーフォームの表示設定について・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・P23
（１）Winndows11 または Windows10 の場合・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・P23
（２）Windopws8.1 の場合・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・P30

１．New2016F51HyperMonster 製品登録書き換え実行前に行うべきこと
こと

（１）ファイルのダウンロードとフォルダーの作成およびファイルの保存

New2016F51HyperMonster 製品登録書き換え実行前に、ダウンロードフォルダーを整理して空にしておき、私共のホームページのページ「New2016F51HyperMonsteFile ダウンロード」の「Ⅲ New2016F51HyperMonster 製品の各ファイルのダウンロード」から５１個の全てのエクセルファイルをダウンロードフォルダーに保存してください。そして、更に D ドライブにフォルダー
「HyperMonster51 の登録書換処理」を必ず作成し、ダウンロードフォルダーに保存した５１個の全てのファイルをフォルダー「HyperMonster51 の登録書換処理」にコピーしてください。また、当方よりメールの添付ファイルとしてお送りした３つのファイル

「New2016F51HyperMonster インストールファイル.xlsm」
「New2016F51CV-DataBaseAdvanceHyperMonster ナンバー登録及びシステム購入申込書（インストール用）.xlsm」
「New2016F51HyperMonster 製品登録書き換えマニュアル.pdf」

もフォルダー「HyperMonster51 の登録書換処理」に保存してください。
D ドライブにフォルダー「HyperMonster51 の登録書換処理」を作成し、これらのファイルを保存するのにはそれなりの重要な理由があります。実は、登録書換処理はこの「HyperMonster51 の登録書換処理」のフォルダー上で行います。ホームページのページ「New2016F51HyperMonster ダウンロード」の「Ⅲ New2016F51HyperMonster 製品の各ファイルのダウンロード」からダウンロードした５１個の全てのエクセルファイルの内訳は
「New2016F51CV-DataBaseAdvanceHyperMonsterDataFileNO.1.xlsm」
～
「New2016F51CV-DataBaseAdvanceHyperMonsterDataFileNO.50.xlsm」
の５０個のデーターファイルと
「New2016F51CV-DataBaseAdvanceHyperMonsterMainFile
（16000Ver1 コンピュータ３台リリース配布版）.xlsm」
のメインファイルから構成されており、
New2016F51CV-DataBaseAdvanceHyperMonsterDataFileNO.1.xlsm」
～
「New2016F51CV-DataBaseAdvanceHyperMonsterDataFileNO.50.xlsm」
の５０個のデーターファイルは関数によってメインファイル
「New2016F51CV-DataBaseAdvanceHyperMonsterMainFile
（16000Ver1 コンピュータ３台リリース配布版）.xlsm」
とリンクされております。登録書換処理を D ドライブの「HyperMonster51 の登録書換処理」のフォルダー上で行うことによってリンクが都合よく保たれるからです。もし、このフォルダー以外のフォルダーで登録書換処理行うとうまくリンクが保たれず、リンクの変更作業を行わなければなりません。リンクの変更作業には膨大な時間が必要です。32 ギガのメモリーを搭載し。CORE i7 基本速度 2.8GHz 最大速度 4.7GHz の CPU 搭載のハイスペックの PC でも最短３時間程度はかかります。

（２）デスプレー設定の詳細設定等

excel database vba | 本格的エクセルデータベース (excel database) である「New2016F51HyperMonste 製品」の各エクセルファイルの書き換え操作を行なう場合、ユーザーフォームの表示を適正な表示にするために、OS が Windows11 や Windiws10 の PC で行う場合には、事前にデスプレー設定の詳細設定を次のようにしておこなってください。
ただし、OS が Wndows8.1 の PC を用いて行う場合にはこの設定は不要です。

①Windows11 の場合

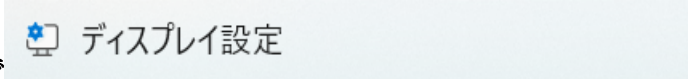
次の[図1]画面は私どもが使用している windows11 の OS が搭載された PC のデスクトップの画面です。

[図1]

上のデスクトップで右クリックすると次の[図2]の画面ようなメニューが表示されます。

[図2]

上のメニュー部分を拡大表示すると

のようになっています。このメニューで 

をクリックすると次の[図3]画面が表示されます。

[図3]

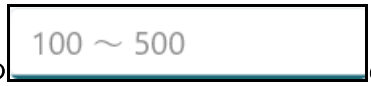
上の[図3]の画面の

の部分の右側の

部分のをクリックすると次の[図4]の画面になります。

[図4]

そして上の[図4]の画面における

の部分の右側の 

の部分を選択して

と入力してこの右側の をクリックすると次の[図5]の画面になります。

[図5]

そして上の[図5]画面の

の部分の右側の

の部分文字をクリックするとサインアウトの画面が表示され、その画面で pin の値を入力すると次の[図6]のデスクトップの画面になります。

[図6]

Internet Explorer
Acrobat Reader DC
Adobe(FMV専用)
ホームページ・ビルダー 19 SP
新規 ロータス 1-2-3 2000 ワークブック.123
データファイルへ移動.txt
エアステーション設定ガイド
おすすめ商品 & サービス
DAZN (ダゾーン)
ホームページ・ビルダー 19 クラシック
Studyaid D.B. 高校 数学I・2・3年
プログラムコピー用.txt
DHCオンラインショップ
FMVキッズハブ
JSユーザー登録・確認
花子2007
クライアントマネージャ V
書き換えプログラム変更.txt
エアステーション設定ツール
Adobe Photoshop Elements 6.0
U-NEXT 31日間無料体験
花子フォトレタッチ3
excel databaseのユーザーフォームの選...
Microsoft Edge
Adobe Premiere Elements 4.0
じゃらんnet
Outlook
excel databaseのユーザーフォームの選...
Google Chrome
セシール
ニッセンオンライン
Access
HyperMonsterユーザーフォームの編集...
My Cloud
EIE11 JA-JP MC... - ショートカット
ホームページ・ビルダー JSユーザー登録
Excel
ウイルスバスター決済保護ブラウザ
ごみ箱
ウイルスバスター クラウド
ホームページ・ビルダー サービスのご案内
Word
システムですプレイカスタムスケーリング.png

が表示されます。

②Windows10 の場合

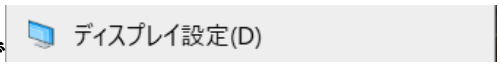
次の[図7]画面の私どもが使用している PC のデスクトップの画面です。

[図7]

デスクトップで右クリックすると次の[図8]画面のようなメニューが表示されます。

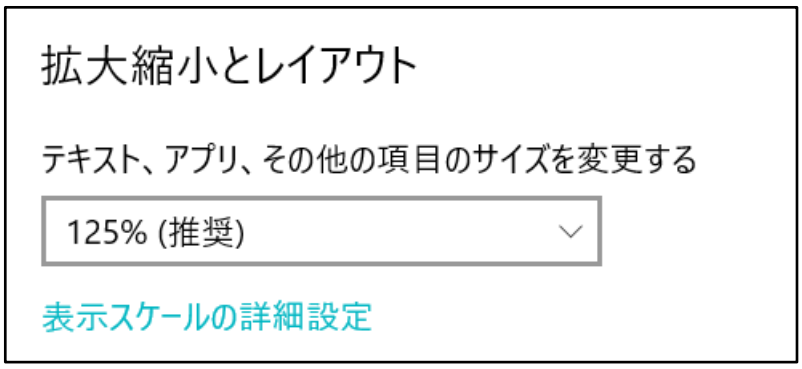
[図8]

上の[図8]画面のメニュー部分を拡大表示すると

のようになっています。このメニューで  をクリックすると次の[図 9]画面が表示されます。

[図 9]

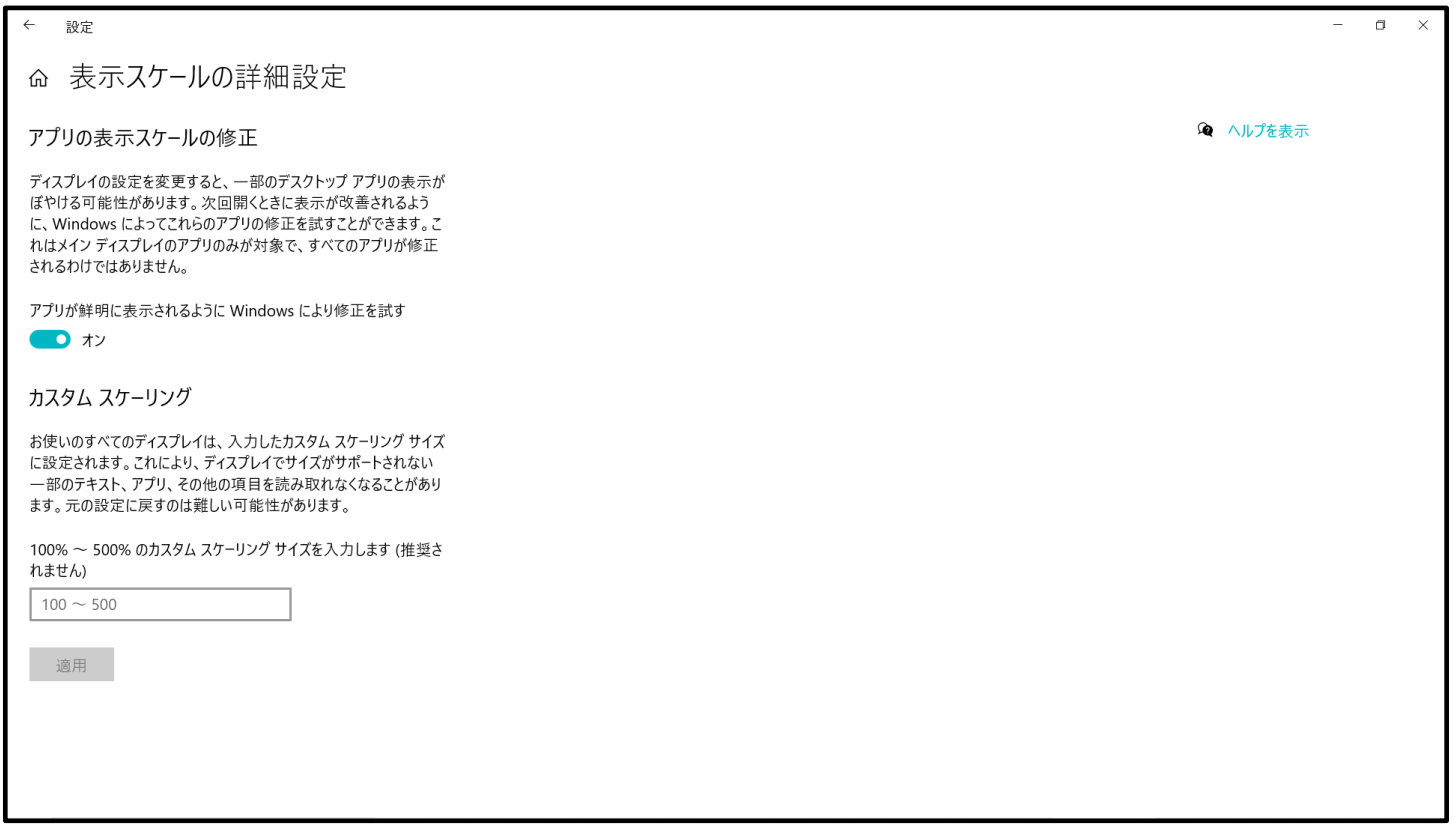
上の[図 9]画面の



の部分の

をクリックすると次の[図 10]画面が表示されます。

[図 10]



上の[図 10]画面の

の部分で、

と入力して

をクリックすると下の[図11]の画面になります。

[図11]

上の[図11]の画面の

の部分の

をクリックし
Pin の値もしくは Mikurosoft のアカウントのパスワードを入力してサインアウトするとデスクとトップの画面になります。私の場合のデスクトップの画面は次の[図１２]画面でこの画面に戻りました。

[図１２]

（３）マクロのセキュリティ設定等

必ず次のようにマクロのセキュリティ等を設定してください。このように設定しておかないと登録・ファイル名の書き換えが正常に実施できません。しかも登録・ファイル名書き換えを行なうファイル「New2016F51HyperMonster インストールファイル.xlsm」が破損されてしまい、２度とこの登録・ファイル名書き換えファイルは使えなくなります。

セキュリティの設定を誤って登録・ファイル名書き換え処理を実行してしまうことも考えられますので、ファイル

「New2016F51HyperMonster インストールファイル.xlsm」

は、登録・ファイル名書き換え処理を実行するフォルダー「HyperMonster51 の登録書換処理」以外にもフォルダーを作成し、そのフォルダーにも登録・ファイル名書き換え処理を実行する前に必ずコピーして予備とし保存おいてください。

① Exel2021 でおこなう場合

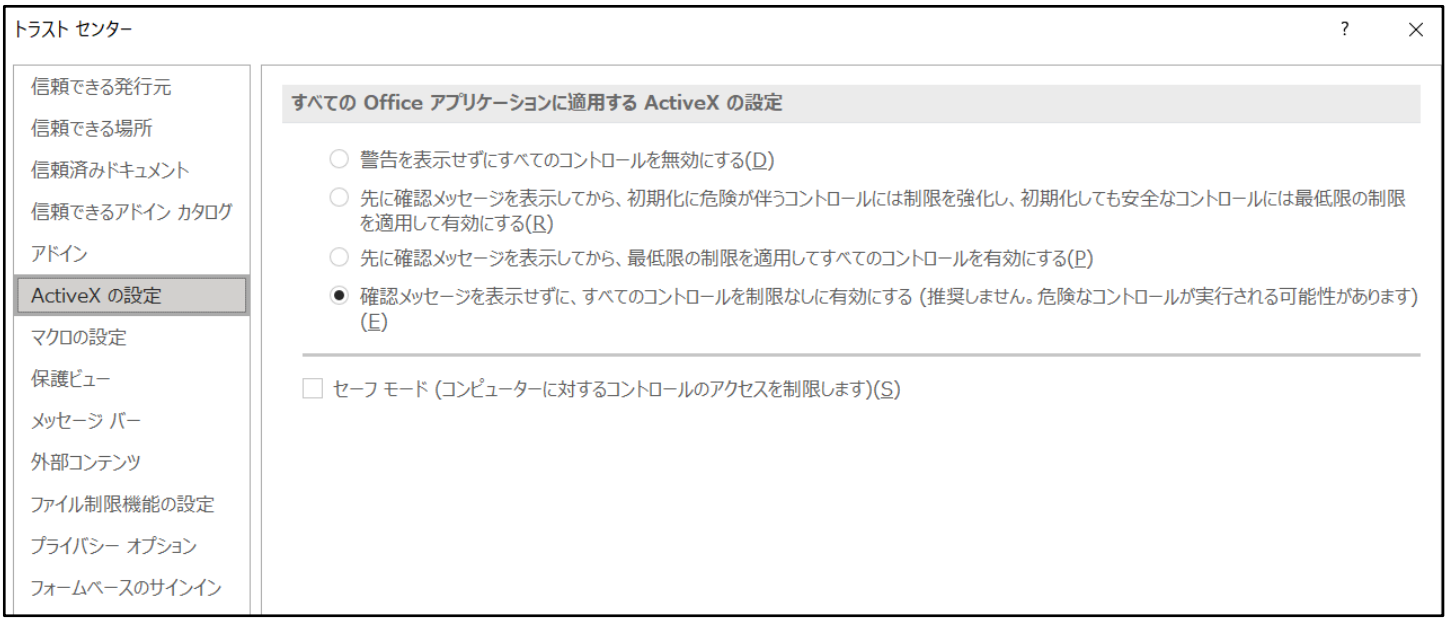
まず、Excel2021 を起動し、ファイル→オプション→Excel のオプション→リボンのユーザー設定→

メインタブの「開発」にチェックを入れ開発タブを表示させてください。そしたら

タブ開発→マクロのセキュリティと選択して「トラストセンター」を表示させます。そして、「トラストセンター」における ActiveX の設定、マクロの設定、保護ビュー、メッセージバー、外部コンテンツ

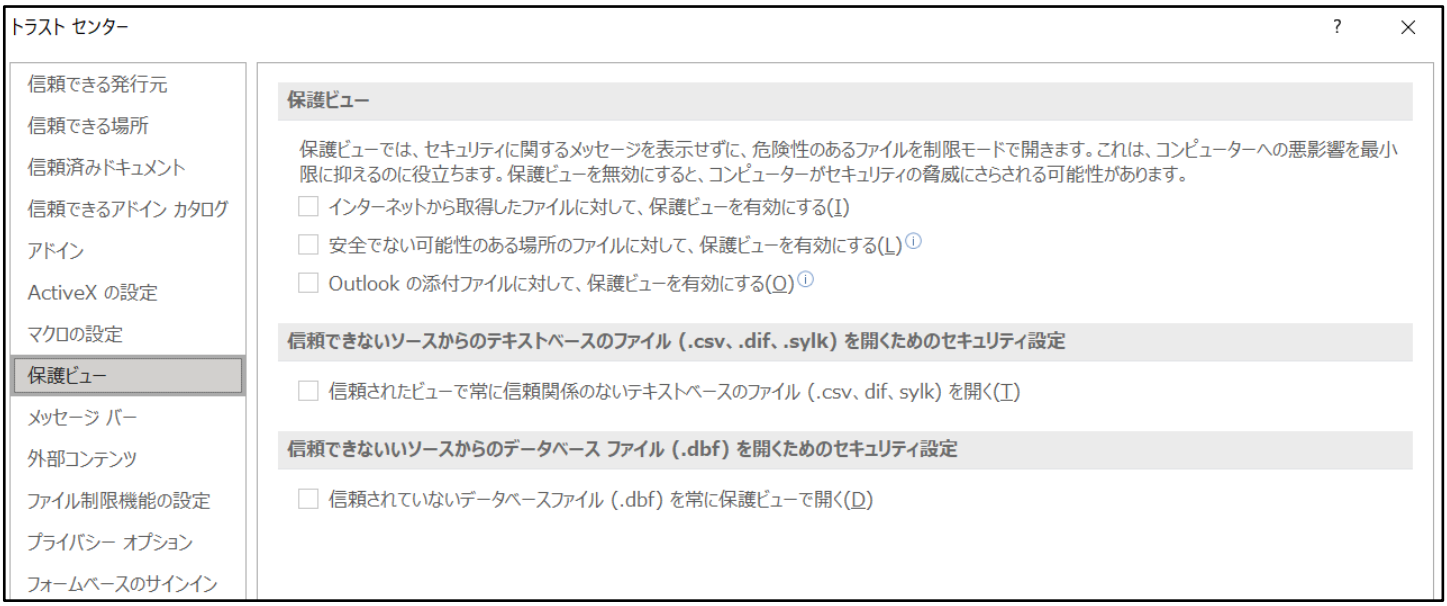
で次のように設定します。

ActiveX の設定

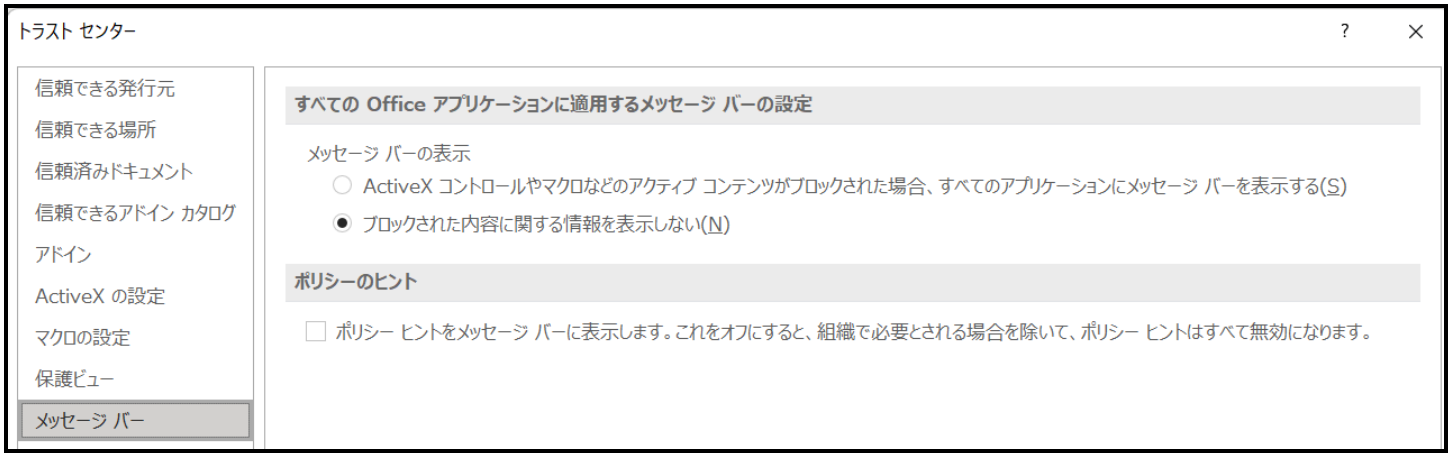


マクロの設定

保護ビュー



メッセージバー



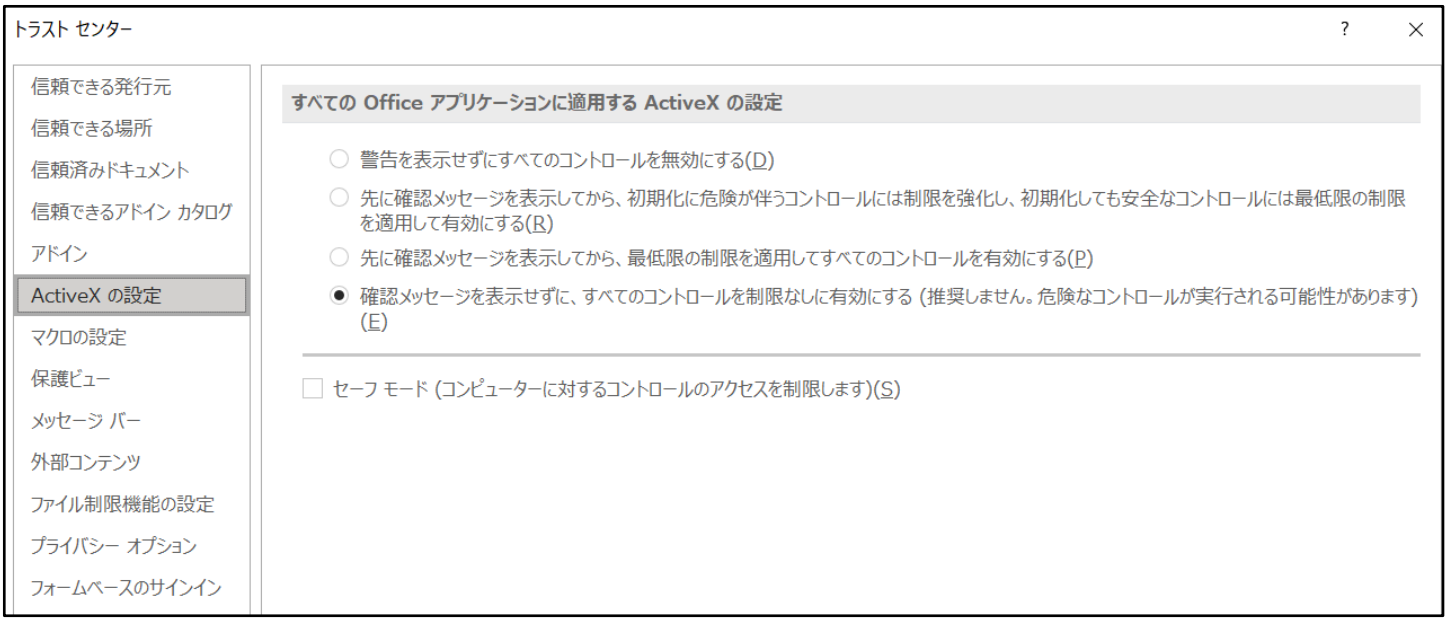
外部コンテンツの設定

② Exel2019 でおこなう場合

まず、Excel2019 を起動し、ファイル→その他→オプション→Excel のオプション→リボンのユーザー設定→メインタブと選択して行きメインタブの「開発」にチェックを入れ開発タブを表示させてください。

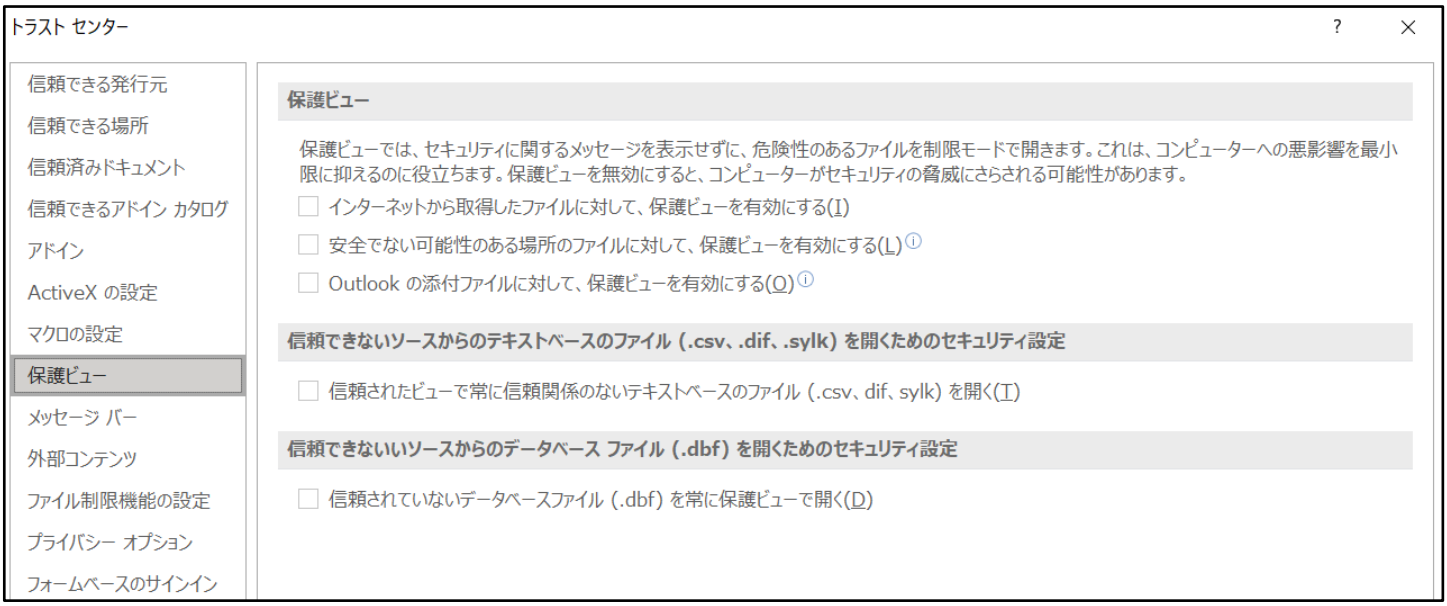
そしたらタブ開発→マクロのセキュリティと選択して「トラストセンター」を表示させます。そして、「トラストセンター」における ActiveX の設定、マクロの設定、保護ビュー、メッセージバー、外部コンテンツでそれぞれの設定を次のようにします。

ActiveX の設定

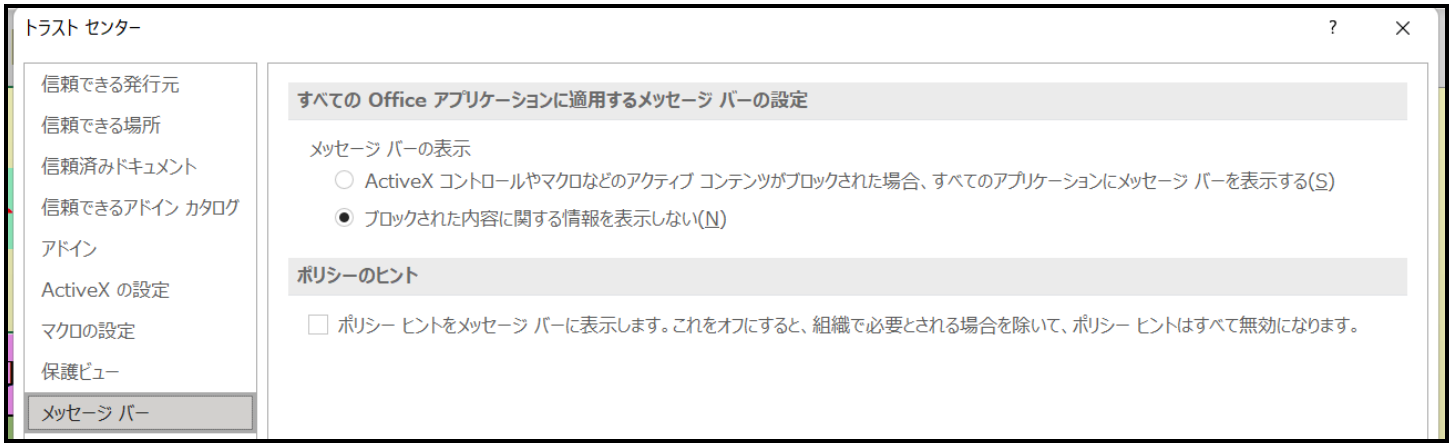


マクロの設定

保護ビュー



メッセージバー



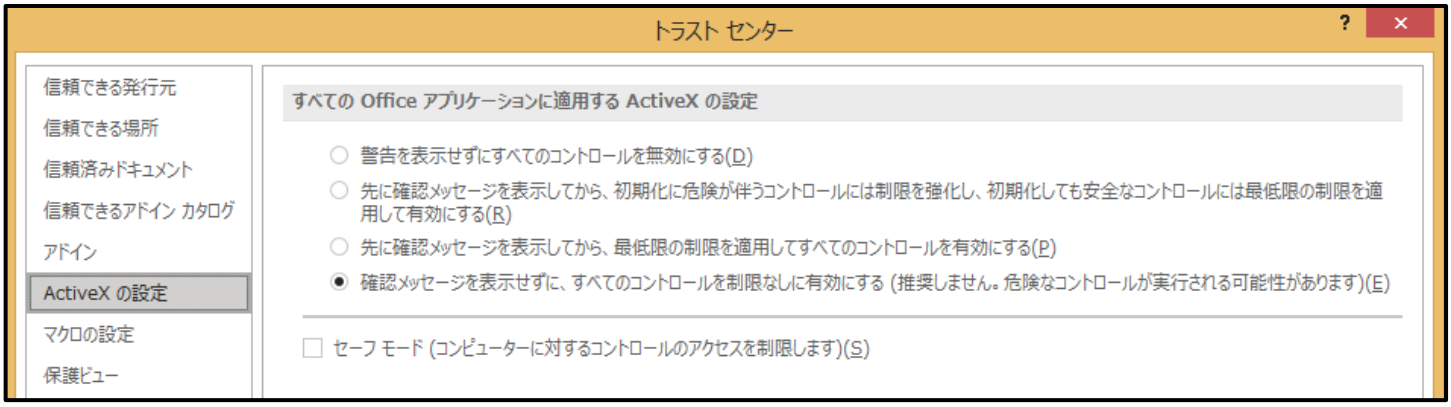
外部コンテンツ

③ Exel2016 でおこなう場合

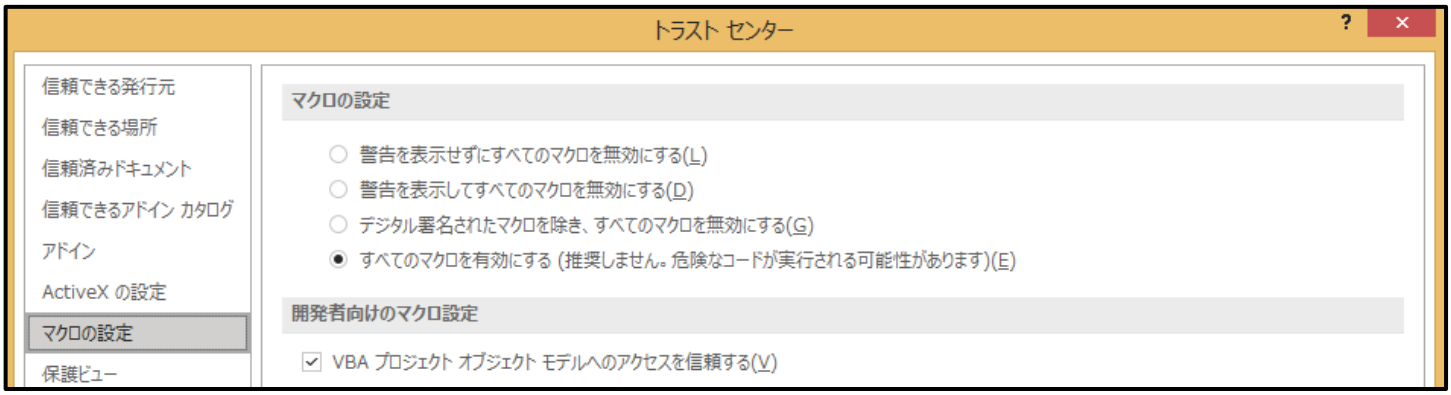
まず、Excel2016 起動し、ファイル→その他→オプション→Excel のオプション→リボンのユーザー設定→メインタブと選択して行きメインタブの「開発」にチェックを入れ開発タブを表示させてください。

そしたらタブ開発→マクロのセキュリティと選択して「トラストセンター」を表示させます。そして、「トラストセンター」における ActiveX の設定、マクロの設定、保護ビュー、メッセージバー、外部コンテンツでそれぞれの設定を次のようにします。

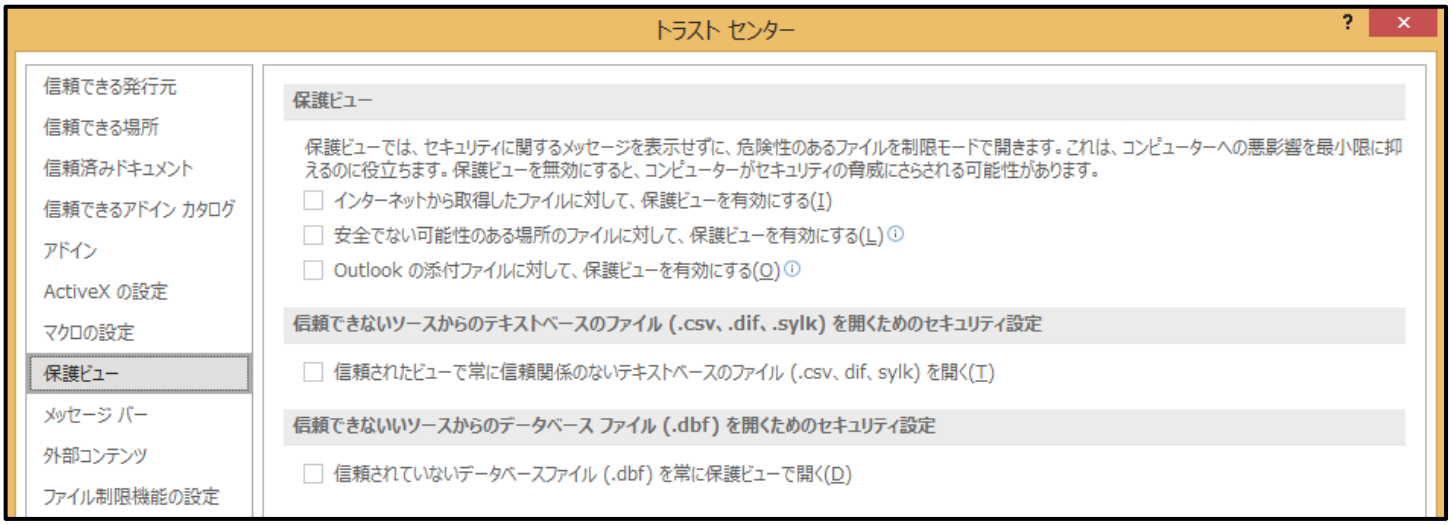
ActiveX の設定



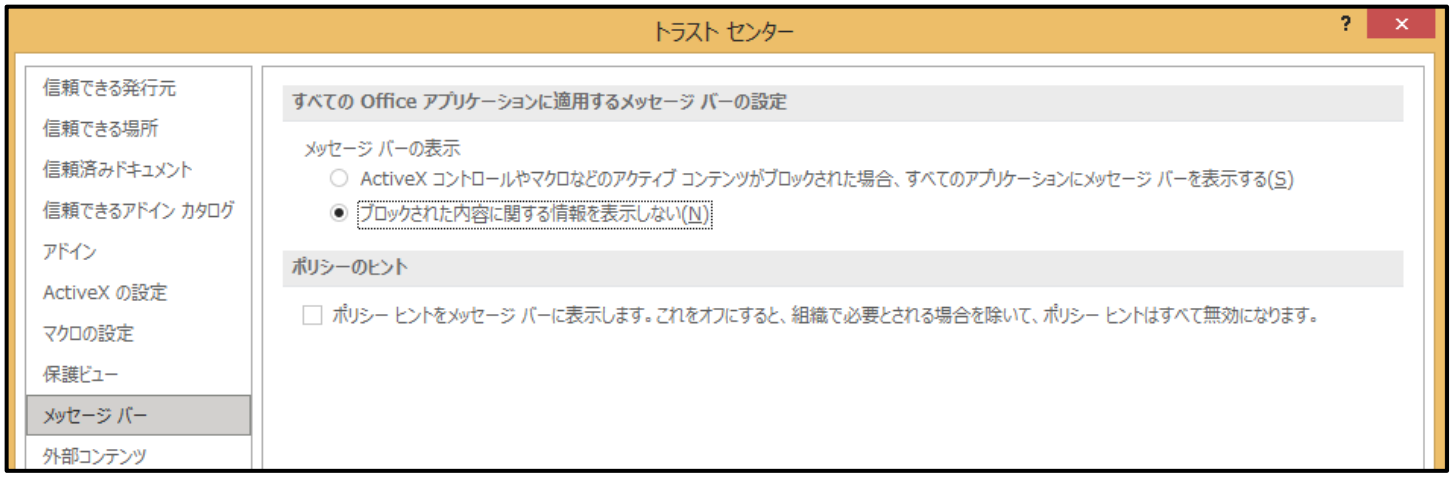
マクロの設定



保護ビュー



メッセージバー

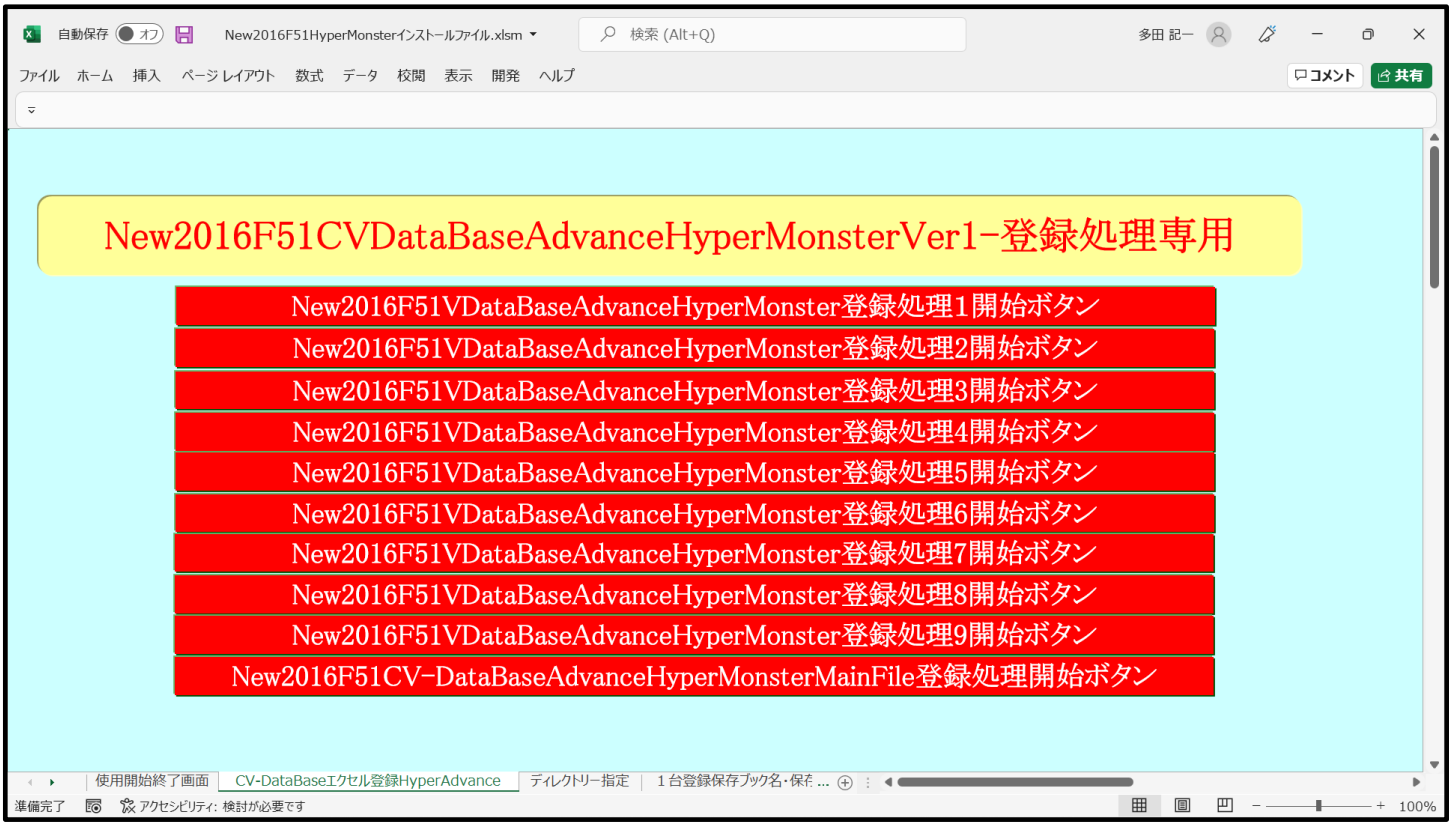


外部コンテンツ

２．New2016F51HyperMonster 製品登録書き換え実行手順

上の１の（１）で保存したフォルダー「**HyperMonster51 の登録書換処理**」内のファイル
「New2016F51HyperMonster インストールファイル.xlsm」
を開くと次の[図１３]の画面になります。

[図１３]



上の[図１３]の画面の各コマンドボタン

New2016F51VDataBaseAdvanceHyperMonster登録処理1開始ボタン
New2016F51VDataBaseAdvanceHyperMonster登録処理2開始ボタン
New2016F51VDataBaseAdvanceHyperMonster登録処理3開始ボタン
New2016F51VDataBaseAdvanceHyperMonster登録処理4開始ボタン
New2016F51VDataBaseAdvanceHyperMonster登録処理5開始ボタン
New2016F51VDataBaseAdvanceHyperMonster登録処理6開始ボタン
New2016F51VDataBaseAdvanceHyperMonster登録処理7開始ボタン
New2016F51VDataBaseAdvanceHyperMonster登録処理8開始ボタン
New2016F51VDataBaseAdvanceHyperMonster登録処理9開始ボタン
New2016F51CV−DataBaseAdvanceHyperMonsterMainFile登録処理開始ボタン

をクリックするとマクロによって自動的に登録書き換え処理が次々実行されていきます。各コマンドボタンをクリックして登録書き換え処理実行し、登録書き換え処理実行終了すると再び上の[図１３]の画面が表示されたら書き換え処理は完了となります。この処理をコマンドボタンの１０個の個数だけ繰り返して行います。書き換え処理が完了したらこの書き換え処理のためのファイル
「New2016F51HyperMonster インストールファイル.xlsm」
を閉じてください。閉じる際、ファイルは保存してもしなくても結構です。書き換えの所要時間は、パソコンのスペックにもよりますが、２０分～４０分程度とお考えください。

この書き換え登録処理前のファイル名は下の[図１４]のようにアルファベットの小文字と数字混じりになっ

ていますが、この登録書き換え処理後のファイル名は、各 NO に対応して、下の[図１５]のようにアルファベットの大文字と数字およびアルファベットの大文字と数字、漢字、カタカナ混じりとなります。

[図１４]

NO	システム名
1	2016f51cv-databaseadvancehypermonsterdatafileno.1.xlsm
2	2016f51cv-databaseadvancehypermonsterdatafileno.2.xlsm
3	2016f51cv-databaseadvancehypermonsterdatafileno.3.xlsm
4	2016f51cv-databaseadvancehypermonsterdatafileno.4.xlsm
5	2016f51cv-databaseadvancehypermonsterdatafileno.5.xlsm
6	2016f51cv-databaseadvancehypermonsterdatafileno.6.xlsm
7	2016f51cv-databaseadvancehypermonsterdatafileno.7.xlsm
8	2016f51cv-databaseadvancehypermonsterdatafileno.8.xlsm
9	2016f51cv-databaseadvancehypermonsterdatafileno.9.xlsm
10	2016f51cv-databaseadvancehypermonsterdatafileno.10.xlsm
11	2016f51cv-databaseadvancehypermonsterdatafileno.11.xlsm
12	2016f51cv-databaseadvancehypermonsterdatafileno.12.xlsm
13	2016f51cv-databaseadvancehypermonsterdatafileno.13.xlsm
14	2016f51cv-databaseadvancehypermonsterdatafileno.14.xlsm
15	2016f51cv-databaseadvancehypermonsterdatafileno.15.xlsm
16	2016f51cv-databaseadvancehypermonsterdatafileno.16.xlsm
17	2016f51cv-databaseadvancehypermonsterdatafileno.17.xlsm
18	2016f51cv-databaseadvancehypermonsterdatafileno.18.xlsm
19	2016f51cv-databaseadvancehypermonsterdatafileno.19.xlsm
20	2016f51cv-databaseadvancehypermonsterdatafileno.20.xlsm
21	2016f51cv-databaseadvancehypermonsterdatafileno.21.xlsm
22	2016f51cv-databaseadvancehypermonsterdatafileno.22.xlsm
23	2016f51cv-databaseadvancehypermonsterdatafileno.23.xlsm
24	2016f51cv-databaseadvancehypermonsterdatafileno.24.xlsm
25	2016f51cv-databaseadvancehypermonsterdatafileno.25.xlsm
26	2016f51cv-databaseadvancehypermonsterdatafileno.26.xlsm
27	2016f51cv-databaseadvancehypermonsterdatafileno.27.xlsm
28	2016f51cv-databaseadvancehypermonsterdatafileno.28.xlsm
29	2016f51cv-databaseadvancehypermonsterdatafileno.29.xlsm
30	2016f51cv-databaseadvancehypermonsterdatafileno.30.xlsm
31	2016f51cv-databaseadvancehypermonsterdatafileno.31.xlsm
32	2016f51cv-databaseadvancehypermonsterdatafileno.32.xlsm
33	2016f51cv-databaseadvancehypermonsterdatafileno.33.xlsm
34	2016f51cv-databaseadvancehypermonsterdatafileno.34.xlsm
35	2016f51cv-databaseadvancehypermonsterdatafileno.35.xlsm
36	2016f51cv-databaseadvancehypermonsterdatafileno.36.xlsm
37	2016f51cv-databaseadvancehypermonsterdatafileno.37.xlsm
38	2016f51cv-databaseadvancehypermonsterdatafileno.38.xlsm
39	2016f51cv-databaseadvancehypermonsterdatafileno.39.xlsm
40	2016f51cv-databaseadvancehypermonsterdatafileno.40.xlsm
41	2016f51cv-databaseadvancehypermonsterdatafileno.41.xlsm
42	2016f51cv-databaseadvancehypermonsterdatafileno.42.xlsm
43	2016f51cv-databaseadvancehypermonsterdatafileno.43.xlsm
44	2016f51cv-databaseadvancehypermonsterdatafileno.44.xlsm
45	2016f51cv-databaseadvancehypermonsterdatafileno.45.xlsm
46	2016f51cv-databaseadvancehypermonsterdatafileno.46.xlsm
47	2016f51cv-databaseadvancehypermonsterdatafileno.47.xlsm
48	2016f51cv-databaseadvancehypermonsterdatafileno.48.xlsm
49	2016f51cv-databaseadvancehypermonsterdatafileno.49.xlsm
50	2016f51cv-databaseadvancehypermonsterdatafileno.50.xlsm
51	2016f51cv-databaseadvancehypermonstermainfile.xlsm

[図１５]

NO	システム名
1	New2016F51CV-DataBaseAdvanceHyperMonsterDataFileNO.1.xlsm
2	New2016F51CV-DataBaseAdvanceHyperMonsterDataFileNO.2.xlsm
3	New2016F51CV-DataBaseAdvanceHyperMonsterDataFileNO.3.xlsm
4	New2016F51CV-DataBaseAdvanceHyperMonsterDataFileNO.4.xlsm
5	New2016F51CV-DataBaseAdvanceHyperMonsterDataFileNO.5.xlsm
6	New2016F51CV-DataBaseAdvanceHyperMonsterDataFileNO.6.xlsm
7	New2016F51CV-DataBaseAdvanceHyperMonsterDataFileNO.7.xlsm
8	New2016F51CV-DataBaseAdvanceHyperMonsterDataFileNO.8.xlsm
9	New2016F51CV-DataBaseAdvanceHyperMonsterDataFileNO.9.xlsm
10	New2016F51CV-DataBaseAdvanceHyperMonsterDataFileNO.10.xlsm
11	New2016F51CV-DataBaseAdvanceHyperMonsterDataFileNO.11.xlsm
12	New2016F51CV-DataBaseAdvanceHyperMonsterDataFileNO.12.xlsm
13	New2016F51CV-DataBaseAdvanceHyperMonsterDataFileNO.13.xlsm
14	New2016F51CV-DataBaseAdvanceHyperMonsterDataFileNO.14.xlsm
15	New2016F51CV-DataBaseAdvanceHyperMonsterDataFileNO.15.xlsm
16	New2016F51CV-DataBaseAdvanceHyperMonsterDataFileNO.16.xlsm
17	New2016F51CV-DataBaseAdvanceHyperMonsterDataFileNO.17.xlsm
18	New2016F51CV-DataBaseAdvanceHyperMonsterDataFileNO.18.xlsm
19	New2016F51CV-DataBaseAdvanceHyperMonsterDataFileNO.19.xlsm
20	New2016F51CV-DataBaseAdvanceHyperMonsterDataFileNO.20.xlsm
21	New2016F51CV-DataBaseAdvanceHyperMonsterDataFileNO.21.xlsm
22	New2016F51CV-DataBaseAdvanceHyperMonsterDataFileNO.22.xlsm
23	New2016F51CV-DataBaseAdvanceHyperMonsterDataFileNO.23.xlsm
24	New2016F51CV-DataBaseAdvanceHyperMonsterDataFileNO.24.xlsm
25	New2016F51CV-DataBaseAdvanceHyperMonsterDataFileNO.25.xlsm
26	New2016F51CV-DataBaseAdvanceHyperMonsterDataFileNO.26.xlsm
27	New2016F51CV-DataBaseAdvanceHyperMonsterDataFileNO.27.xlsm
28	New2016F51CV-DataBaseAdvanceHyperMonsterDataFileNO.28.xlsm
29	New2016F51CV-DataBaseAdvanceHyperMonsterDataFileNO.29.xlsm
30	New2016F51CV-DataBaseAdvanceHyperMonsterDataFileNO.30.xlsm
31	New2016F51CV-DataBaseAdvanceHyperMonsterDataFileNO.31.xlsm
32	New2016F51CV-DataBaseAdvanceHyperMonsterDataFileNO.32.xlsm
33	New2016F51CV-DataBaseAdvanceHyperMonsterDataFileNO.33.xlsm
34	New2016F51CV-DataBaseAdvanceHyperMonsterDataFileNO.34.xlsm
35	New2016F51CV-DataBaseAdvanceHyperMonsterDataFileNO.35.xlsm
36	New2016F51CV-DataBaseAdvanceHyperMonsterDataFileNO.36.xlsm
37	New2016F51CV-DataBaseAdvanceHyperMonsterDataFileNO.37.xlsm
38	New2016F51CV-DataBaseAdvanceHyperMonsterDataFileNO.38.xlsm
39	New2016F51CV-DataBaseAdvanceHyperMonsterDataFileNO.39.xlsm
40	New2016F51CV-DataBaseAdvanceHyperMonsterDataFileNO.40.xlsm
41	New2016F51CV-DataBaseAdvanceHyperMonsterDataFileNO.41.xlsm
42	New2016F51CV-DataBaseAdvanceHyperMonsterDataFileNO.42.xlsm
43	New2016F51CV-DataBaseAdvanceHyperMonsterDataFileNO.43.xlsm
44	New2016F51CV-DataBaseAdvanceHyperMonsterDataFileNO.44.xlsm
45	New2016F51CV-DataBaseAdvanceHyperMonsterDataFileNO.45.xlsm
46	New2016F51CV-DataBaseAdvanceHyperMonsterDataFileNO.46.xlsm
47	New2016F51CV-DataBaseAdvanceHyperMonsterDataFileNO.47.xlsm
48	New2016F51CV-DataBaseAdvanceHyperMonsterDataFileNO.48.xlsm
49	New2016F51CV-DataBaseAdvanceHyperMonsterDataFileNO.49.xlsm
50	New2016F51CV-DataBaseAdvanceHyperMonsterDataFileNO.50.xlsm
51	New2016F51CV-DataBaseAdvanceHyperMonsterMainFile（16000Ver1コンピュータ３台リリース配布版）.xlsm

なお、登録書き換え処理が済んだ後は、フォルダー
「HyperMonster51 の登録書換処理」
内全てのファイルを DVD または BRD 等あるいは USB にフォルダー「HyperMonster51 の登録書換処理」ごとまるまるコピーして保存しておきましょう。パソコンにトラブルやファイルの編集作業でトラブルが発生した際、対処できるようにしておくためです。
また、登録書き換え処理が済み各ファイルを開く場合、登録書き換えを実行したフォルダー
「HyperMonster51 の登録書換処理」内では開かないで、つねに更に別のフォルダーを D ドライブに作成し、そこにコピーしてそこで開いてファイルの処理編集をおこなうようにしてください。おお元となるフォルダー「HyperMonster51 の登録書換処理」のファイルを守るためです。別のフォルダーを D ドライブに作成し、そこにコピーしてそこで開いてファイルの処理編集をおこなう場合、
「New2016F51CV-DataBaseAdvanceHyperMonsterDataFileNO.1.xlsm」
～
「New2016F51CV-DataBaseAdvanceHyperMonsterDataFileNO.62.xlsm」
の５０個のデーターファイルとメインファイル
「New2016F51CV-DataBaseAdvanceHyperMonsterMainFile
（16000Ver1 コンピュータ３台リリース配布版）.xlsm」
とのリンクは正常に保たれます。

３．各エクセルファイルのユーザーフォームの表示設定について
「New2016F51HyperMonster 製品」の 63 個の各エクセルファイルを開いたら、先ず、必ず次のように設定してください。
どのファイルを使用する場合についても同じですので、ファイル
「New2016F51CV-DataBaseAdvanceHyperMonsterMainFile（16000Ver1 コンピュータ３台リリース配布版）.xlsm」
を用いて説明させていただきます

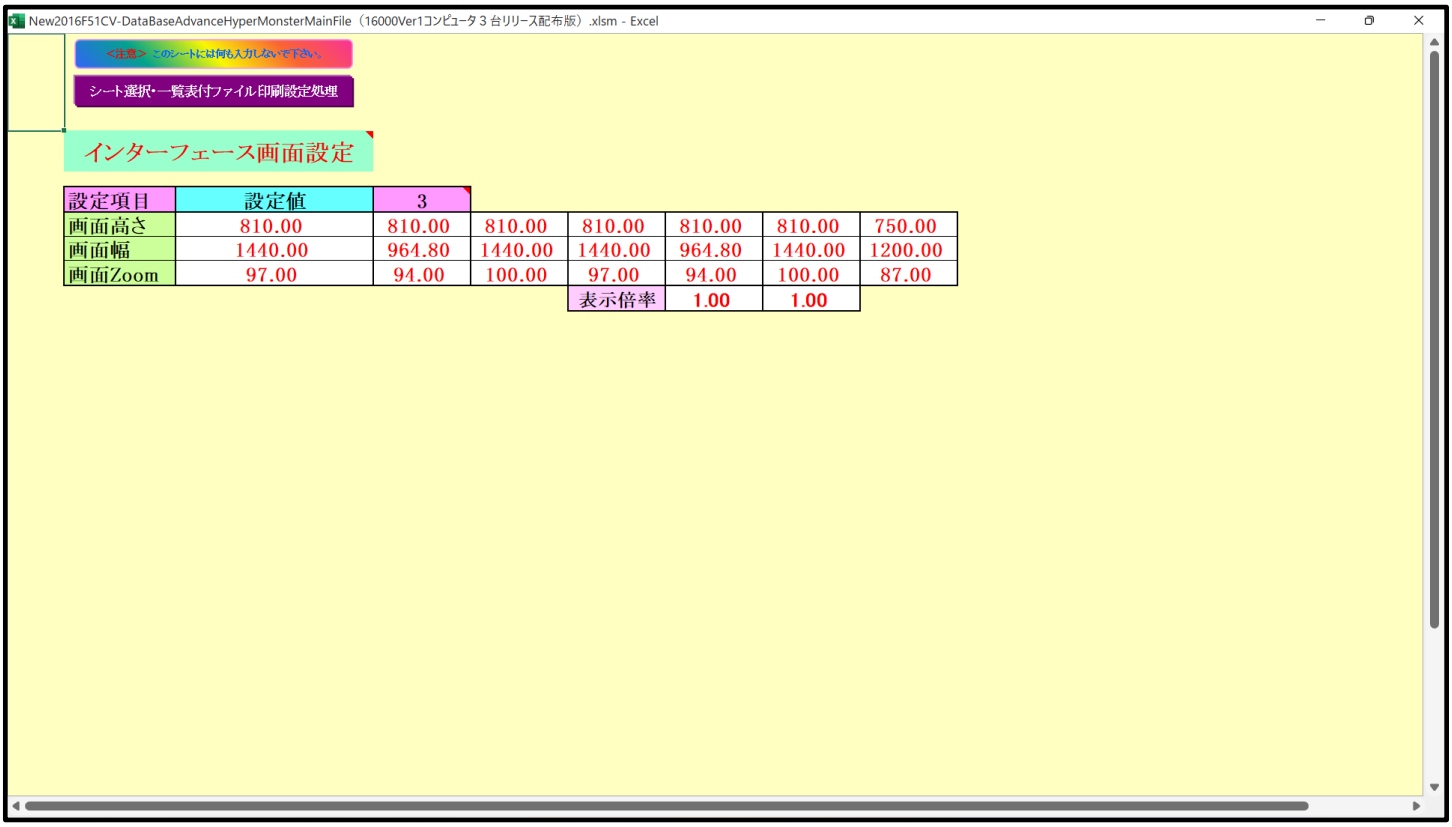
（１）Windows11 または Windows10 の場合
ファイルを立ち上げていくとユーザーフォーム「シート選択・一覧表付ファイル作成入力設定処理」が表示されますが、タブ シート選択, 処理呼出1 選択すると次の[図１６]の画面のようになります。

[図１６]

上の［図１６］の画面において

インターフェース画面設定 をクリックするとシート「インターフェース画面設定」が表示され次の[図１７]画面のようになります。

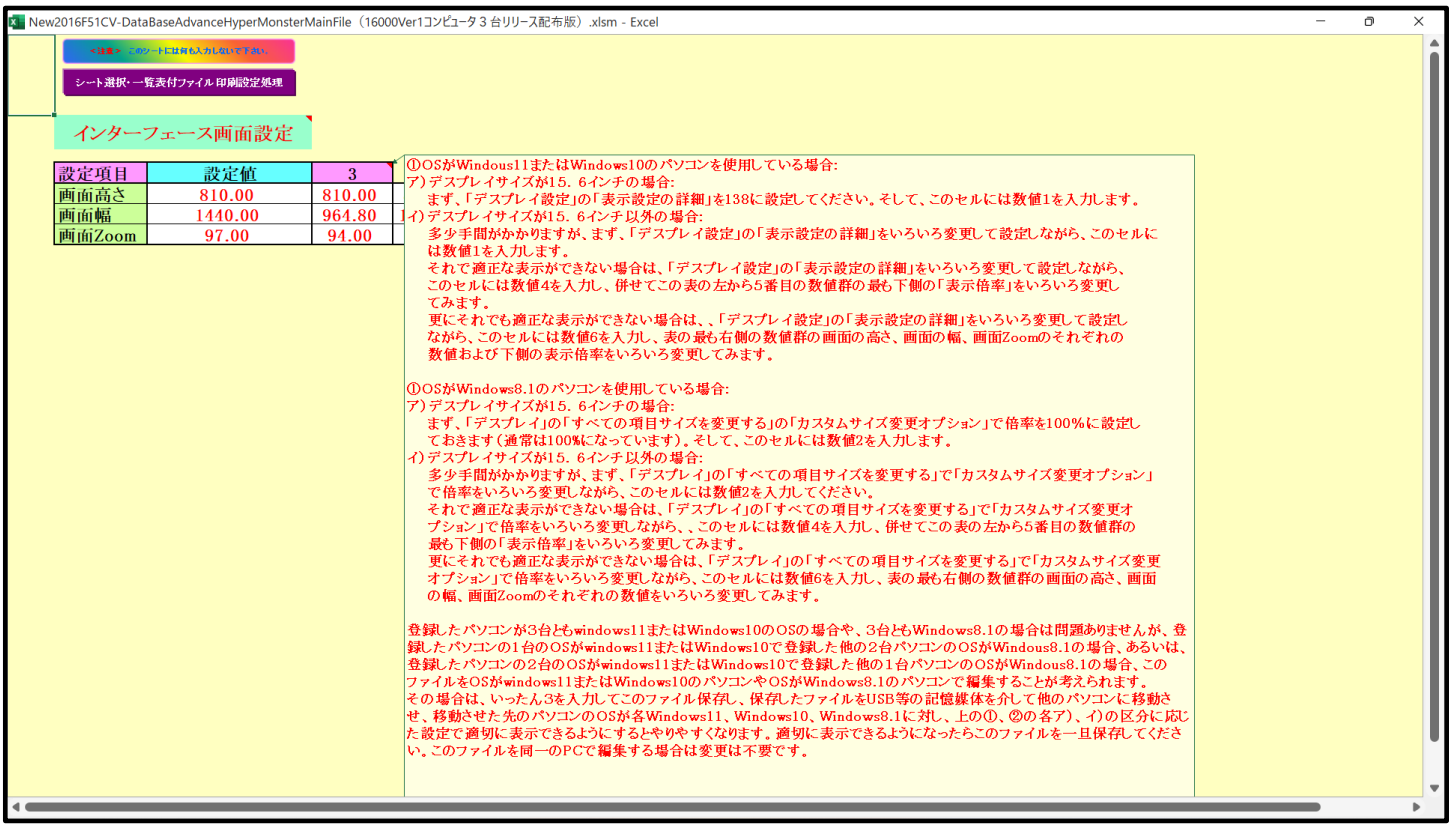
[図１７]



設定項目	設定値	3					
画面高さ	810.00	810.00	810.00	810.00	810.00	810.00	750.00
画面幅	1440.00	964.80	1440.00	1440.00	964.80	1440.00	1200.00
画面Zoom	97.00	94.00	100.00	97.00	94.00	100.00	87.00
				表示倍率	1.00	1.00	

上の[図１７]画面のセル 3 にポインターを近づけると、次の[図１８]画面のようになります。

[図１８]



となり、コメント

①OSがWindous11またはWindows10のパソコンを使用している場合:
ア)デスプレイサイズが15．6インチの場合:
まず、「デスプレイ設定」の「表示設定の詳細」を138に設定してください。そして、このセルには数値1を入力します。
イ)デスプレイサイズが15．6インチ以外の場合:
多少手間がかかりますが、まず、「デスプレイ設定」の「表示設定の詳細」をいろいろ変更して設定しながら、このセルには数値1を入力します。
それで適正な表示ができない場合は、「デスプレイ設定」の「表示設定の詳細」をいろいろ変更して設定しながら、このセルには数値4を入力し、併せてこの表の左から5番目の数値群の最も下側の「表示倍率」をいろいろ変更してみます。
更にそれでも適正な表示ができない場合は、、「デスプレイ設定」の「表示設定の詳細」をいろいろ変更して設定しながら、このセルには数値6を入力し、表の最も右側の数値群の画面の高さ、画面の幅、画面Zoomのそれぞれの数値および下側の表示倍率をいろいろ変更してみます。

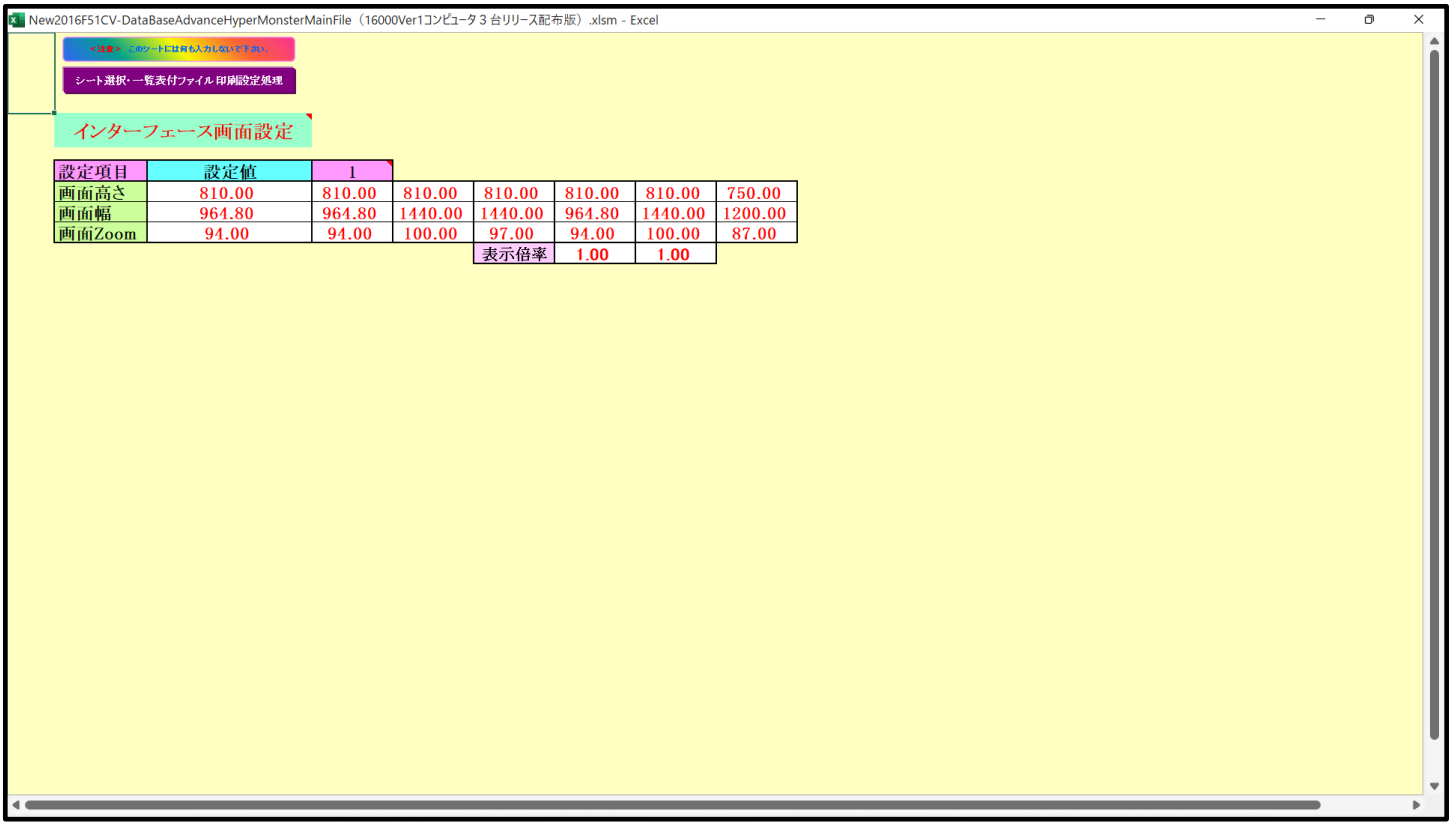
①OSがWindows8.1のパソコンを使用している場合:
ア)デスプレイサイズが15．6インチの場合:
まず、「デスプレイ」の「すべての項目サイズを変更する」の「カスタムサイズ変更オプション」で倍率を100％に設定しておきます（通常は100%になっています）。そして、このセルには数値2を入力します。
イ)デスプレイサイズが15．6インチ以外の場合:
多少手間がかかりますが、まず、「デスプレイ」の「すべての項目サイズを変更する」で「カスタムサイズ変更オプション」で倍率をいろいろ変更しながら、このセルには数値2を入力してください。
それで適正な表示ができない場合は、「デスプレイ」の「すべての項目サイズを変更する」で「カスタムサイズ変更オプション」で倍率をいろいろ変更しながら、、このセルには数値4を入力し、併せてこの表の左から5番目の数値群の最も下側の「表示倍率」をいろいろ変更してみます。
更にそれでも適正な表示ができない場合は、「デスプレイ」の「すべての項目サイズを変更する」で「カスタムサイズ変更オプション」で倍率をいろいろ変更しながら、このセルには数値6を入力し、表の最も右側の数値群の画面の高さ、画面の幅、画面Zoomのそれぞれの数値をいろいろ変更してみます。

登録したパソコンが3台ともwindows11またはWindows10のOSの場合や、3台ともWindows8.1の場合は問題ありませんが、登録したパソコンの1台のOSがwindows11またはWindows10で登録した他の2台パソコンのOSがWindous8.1の場合、あるいは、登録したパソコンの2台のOSがwindows11またはWindows10で登録した他の1台パソコンのOSがWindous8.1の場合、このファイルをOSがwindows11またはWindows10のパソコンやOSがWindows8.1のパソコンで編集することが考えられます。
その場合は、いったん3を入力してこのファイル保存し、保存したファイルをUSB等の記憶媒体を介して他のパソコンに移動させ、移動させた先のパソコンのOSが各Windows11、Windows10、Windows8.1に対し、上の①、②の各ア)、イ)の区分に応じた設定で適切に表示できるようにするとやりやすくなります。適切に表示できるようになったらこのファイルを一旦保存してください。このファイルを同一のPCで編集する場合は変更は不要です。

が表示されます。

上の[図１８]画面のセル 3 の値を 1 に変更し、次の[図１９]の画面ようにします。

[図１９]



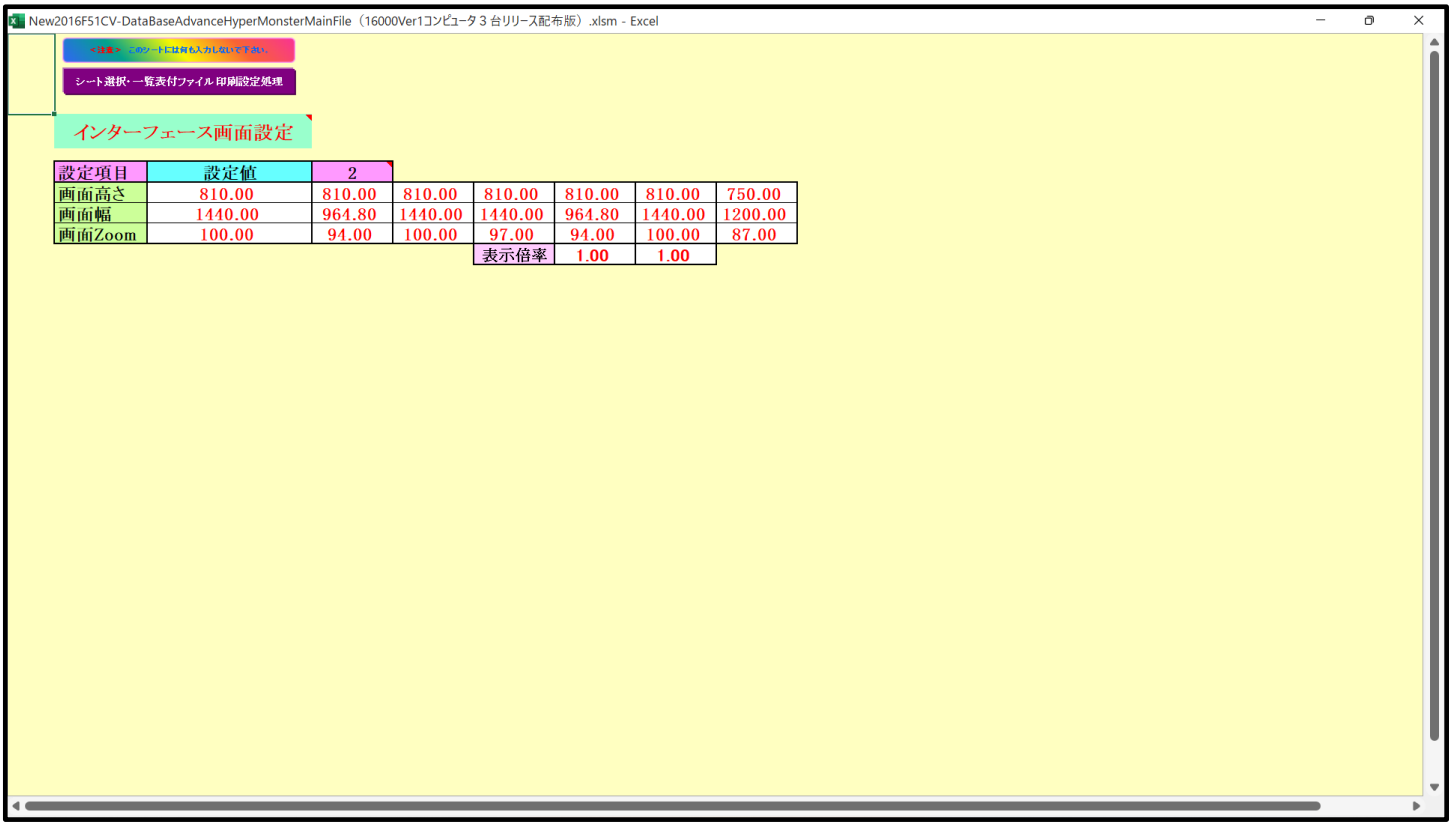
上の[図１９]の画面の状況でコマンドボタン

をクリックすると次の[図２０]の画面ようになり、正常なユーザーフォームの表示となります。

[図２０]

更に上の[図２０]の画面セル 1 の値を 2 に変更し、次の[図２１]の画面のようにします。

[図２１]



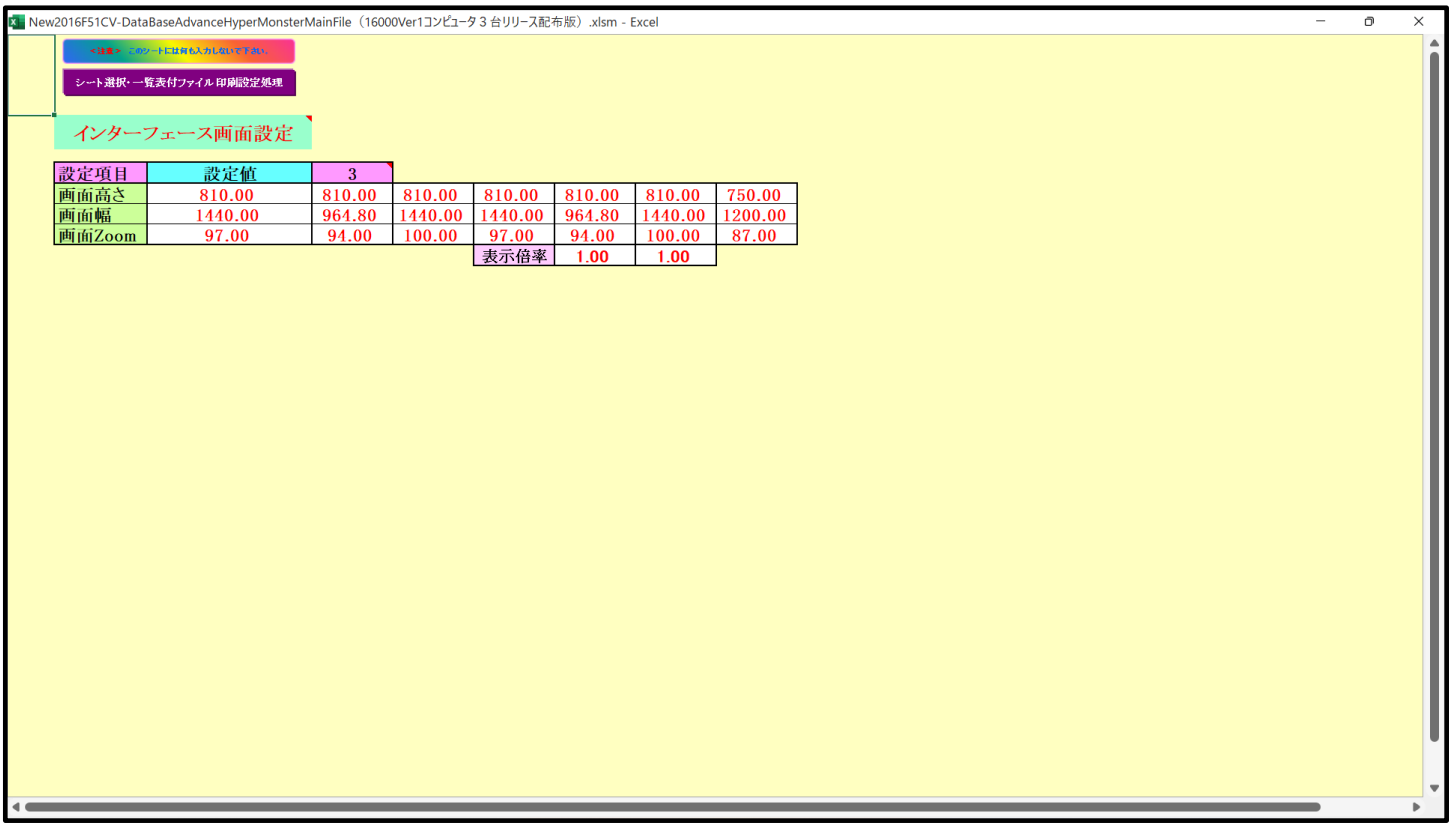
上の次の[図２１]の画面の状況でコマンドボタン シート選択・一覧表付ファイル印刷設定処理 をクリックする、次の[図２２]の画面のようになります。

[図２２]

上の[図２２]の画面では正常なユーザーフォームの表示よりもかなり大きめの表示となってしまいます。

そして、次の上の[図２１]の画面のセル 2 の値を 3 に変更し、次の[図２３]の画面のようにしてます。

[図２３]



上の[図２３]の画面の状況でコマンドボタン シート選択・一覧表付ファイル印刷設定処理 をクリックすると、次の[図２４]の画面のようになります。

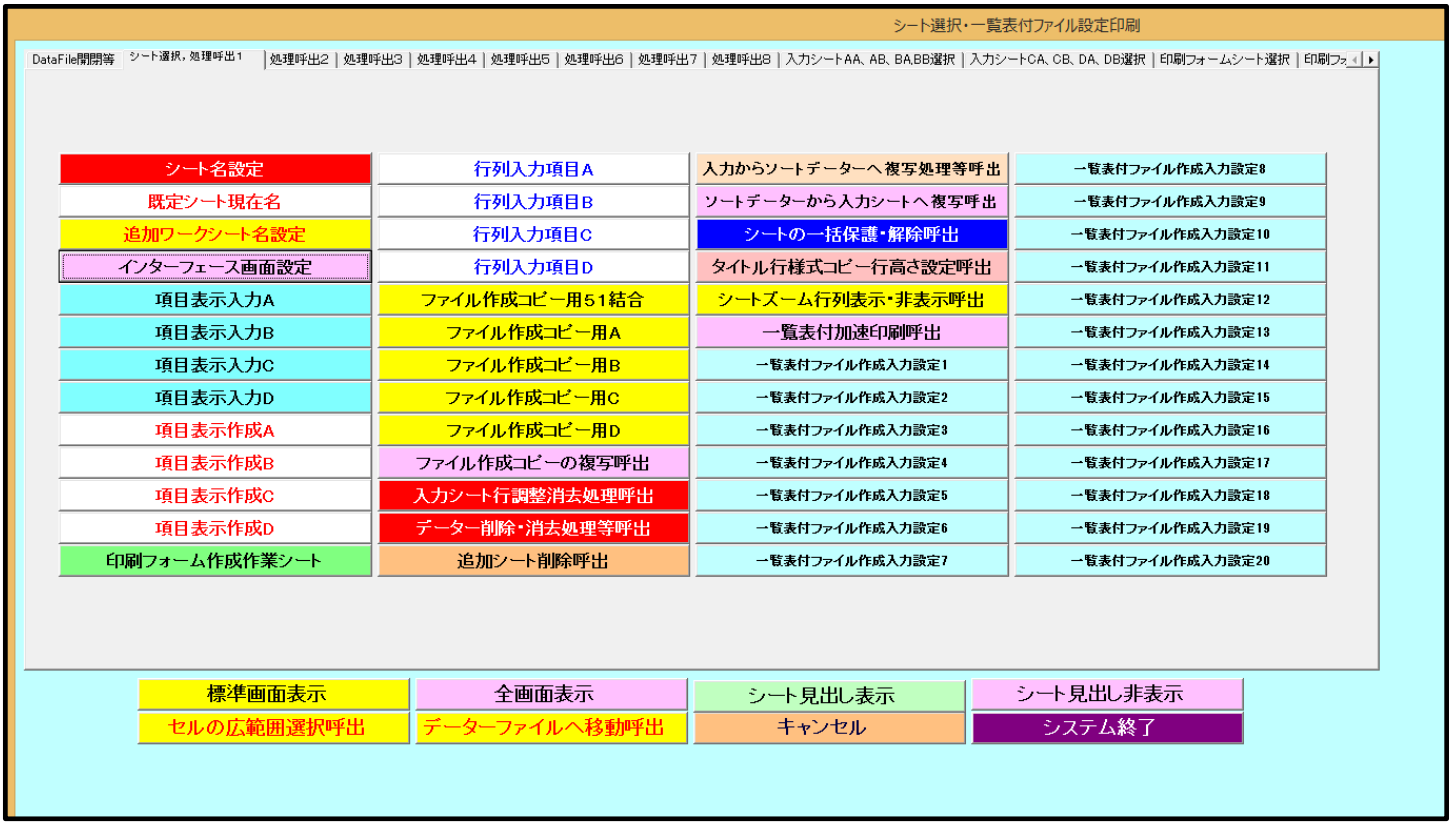
[図２４]

上の[図２４]の画面は正常なユーザーフォームの表示よりもやや大きめの表示となりますが、正常なユーザーフォームの表示にかなり近い表示となります。デフォルトではこのような設定になっています。

（２）Windopws8.1 の場合

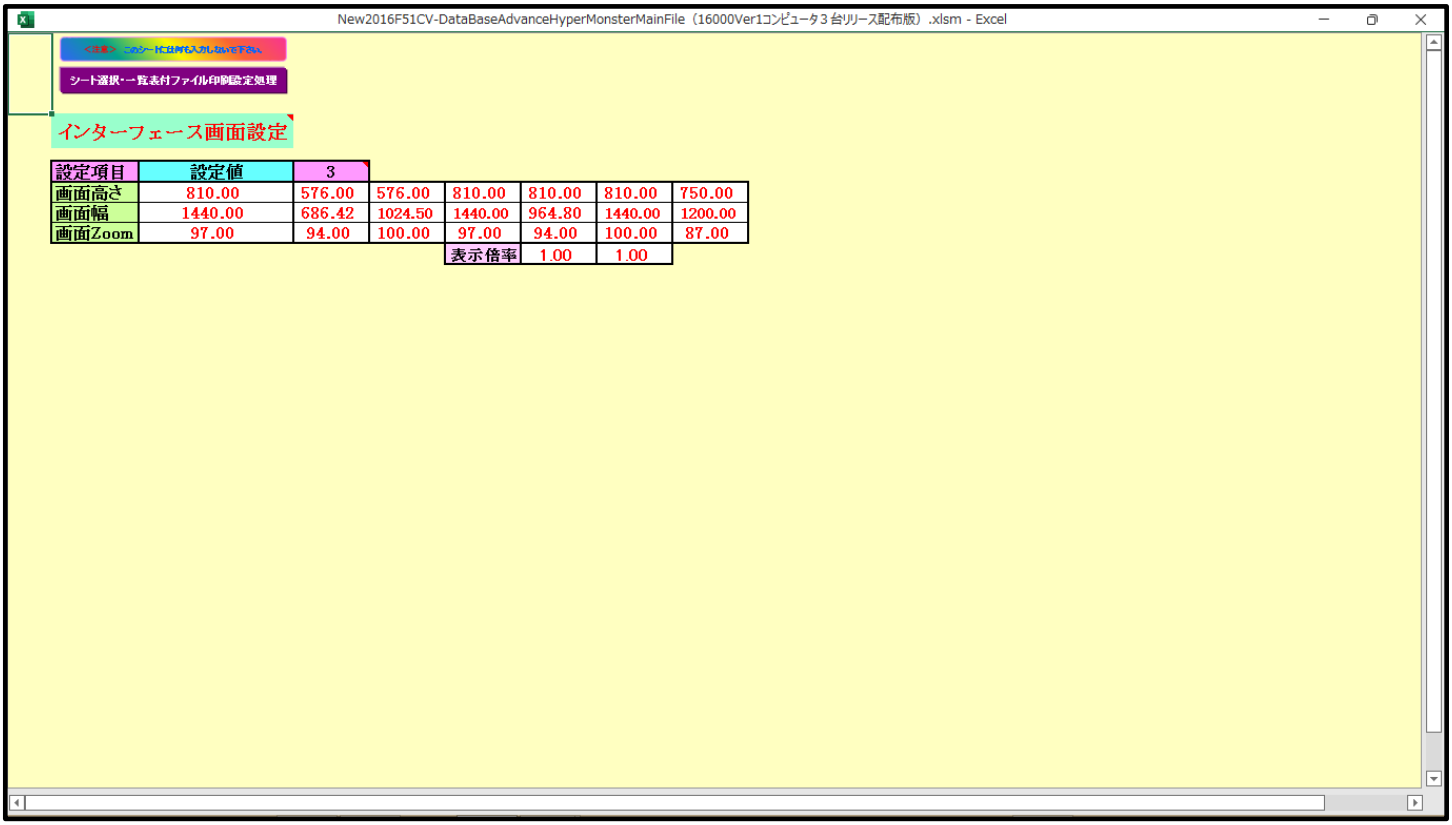
ファイルを立ち上げていくとユーザーフォーム「シート選択・一覧表付ファイル作成入力設定処理」が表示されますが、タブ シート選択, 処理呼出1 選択すると、次の[図２５]の画面のようになります。

[図２５]



上の[図２５]画面において、コマンドボタン **インターフェース画面設定** をクリックすると、シート「インターフェース画面設定」が表示され次の[図２６]画面のようになります。

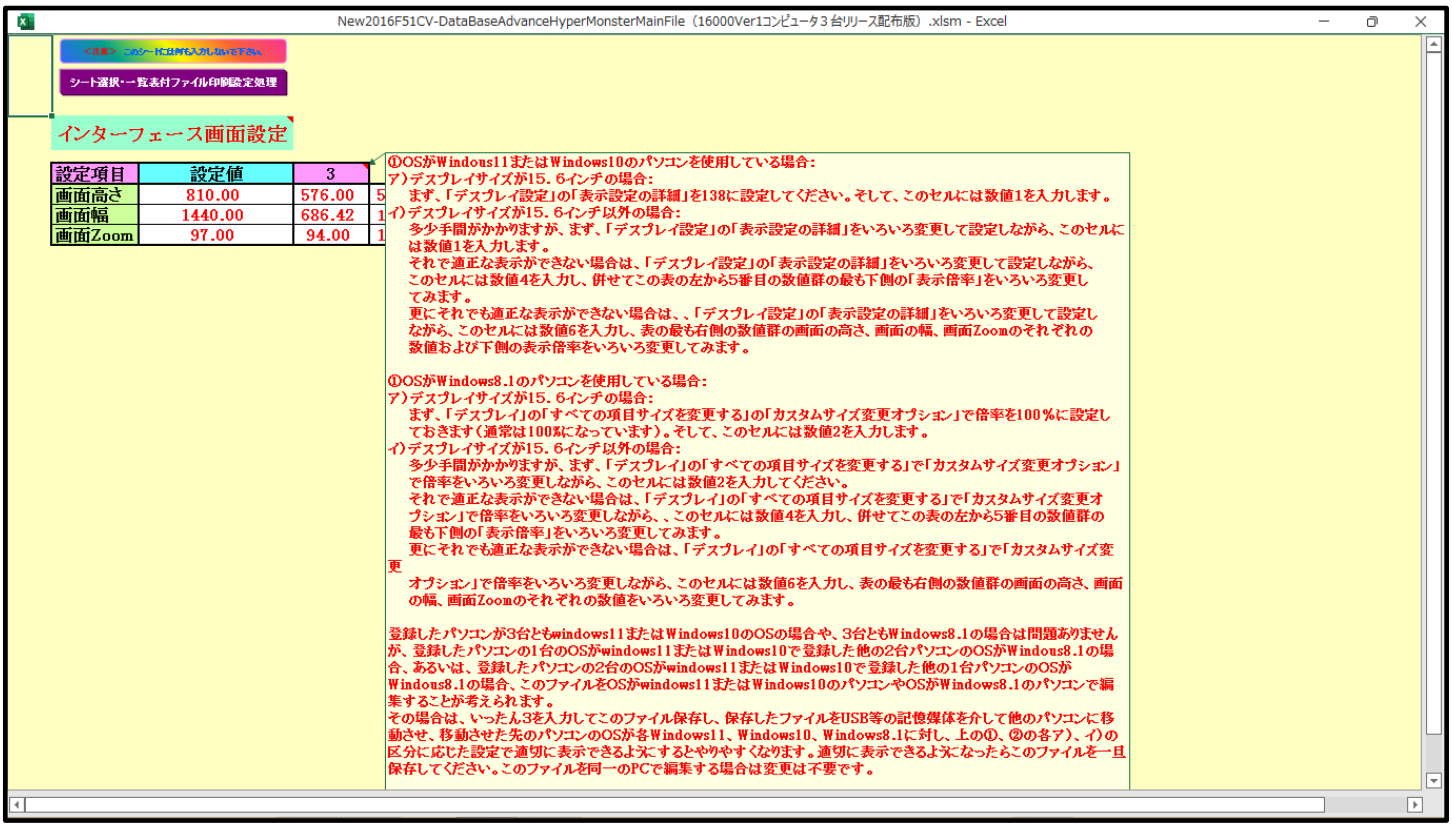
[図２６]



設定項目	設定値	3					
画面高さ	810.00	576.00	576.00	810.00	810.00	810.00	750.00
画面幅	1440.00	686.42	1024.50	1440.00	964.80	1440.00	1200.00
画面Zoom	97.00	94.00	100.00	97.00	94.00	100.00	87.00
				表示倍率	1.00	1.00	

上の[図２６]画面のセル 3 にポインターを近づけると、次の[図２７]画面のようになります。

[図２７]



となりコメント

①OSがWindous11またはWindows10のパソコンを使用している場合:
ア)デスプレイサイズが15.6インチの場合:
まず、「デスプレイ設定」の「表示設定の詳細」を138に設定してください。そして、このセルには数値1を入力します。
イ)デスプレイサイズが15.6インチ以外の場合:
多少手間がかかりますが、まず、「デスプレイ設定」の「表示設定の詳細」をいろいろ変更して設定しながら、このセルには数値1を入力します。
それで適正な表示ができない場合は、「デスプレイ設定」の「表示設定の詳細」をいろいろ変更して設定しながら、このセルには数値4を入力し、併せてこの表の左から5番目の数値群の最も下側の「表示倍率」をいろいろ変更してみます。
更にそれでも適正な表示ができない場合は、、「デスプレイ設定」の「表示設定の詳細」をいろいろ変更して設定しながら、このセルには数値6を入力し、表の最も右側の数値群の画面の高さ、画面の幅、画面Zoomのそれぞれの数値および下側の表示倍率をいろいろ変更してみます。

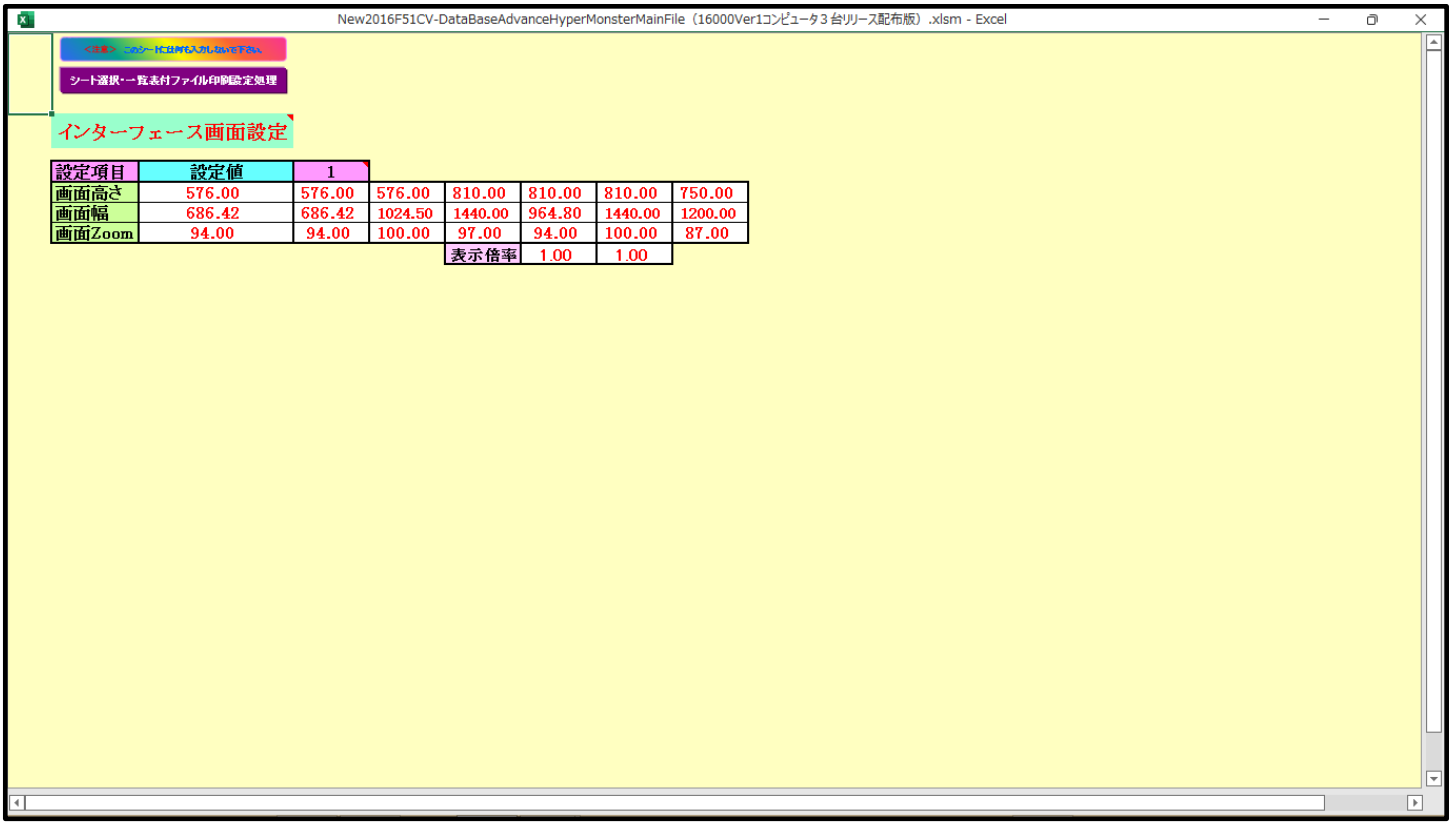
①OSがWindows8.1のパソコンを使用している場合:
ア)デスプレイサイズが15.6インチの場合:
まず、「デスプレイ」の「すべての項目サイズを変更する」の「カスタムサイズ変更オプション」で倍率を100%に設定しておきます(通常は100%になっています)。そして、このセルには数値2を入力します。
イ)デスプレイサイズが15.6インチ以外の場合:
多少手間がかかりますが、まず、「デスプレイ」の「すべての項目サイズを変更する」で「カスタムサイズ変更オプション」で倍率をいろいろ変更しながら、このセルには数値2を入力してください。
それで適正な表示ができない場合は、「デスプレイ」の「すべての項目サイズを変更する」で「カスタムサイズ変更オプション」で倍率をいろいろ変更しながら、、このセルには数値4を入力し、併せてこの表の左から5番目の数値群の最も下側の「表示倍率」をいろいろ変更してみます。
更にそれでも適正な表示ができない場合は、「デスプレイ」の「すべての項目サイズを変更する」で「カスタムサイズ変更オプション」で倍率をいろいろ変更しながら、このセルには数値6を入力し、表の最も右側の数値群の画面の高さ、画面の幅、画面Zoomのそれぞれの数値をいろいろ変更してみます。

登録したパソコンが3台ともwindows11またはWindows10のOSの場合や、3台ともWindows8.1の場合は問題ありませんが、登録したパソコンの1台のOSがwindows11またはWindows10で登録した他の2台パソコンのOSがWindous8.1の場合、あるいは、登録したパソコンの2台のOSがwindows11またはWindows10で登録した他の1台パソコンのOSがWindous8.1の場合、このファイルをOSがwindows11またはWindows10のパソコンやOSがWindows8.1のパソコンで編集することが考えられます。その場合は、いったん3を入力してこのファイル保存し、保存したファイルをUSB等の記憶媒体を介して他のパソコンに移動させ、移動させた先のパソコンのOSが各Windows11、Windows10、Windows8.1に対し、上の①、②の各ア)、イ)の区分に応じた設定で適切に表示できるようにするとやりやすくなります。適切に表示できるようになったらこのファイルを一旦保存してください。このファイルを同一のPCで編集する場合は変更は不要です。

が表示されます。

次に上の[図２６]画面セル 3 の値を 1 に変更し、次の[図２８]画面ようにしてみます。

[図２８]



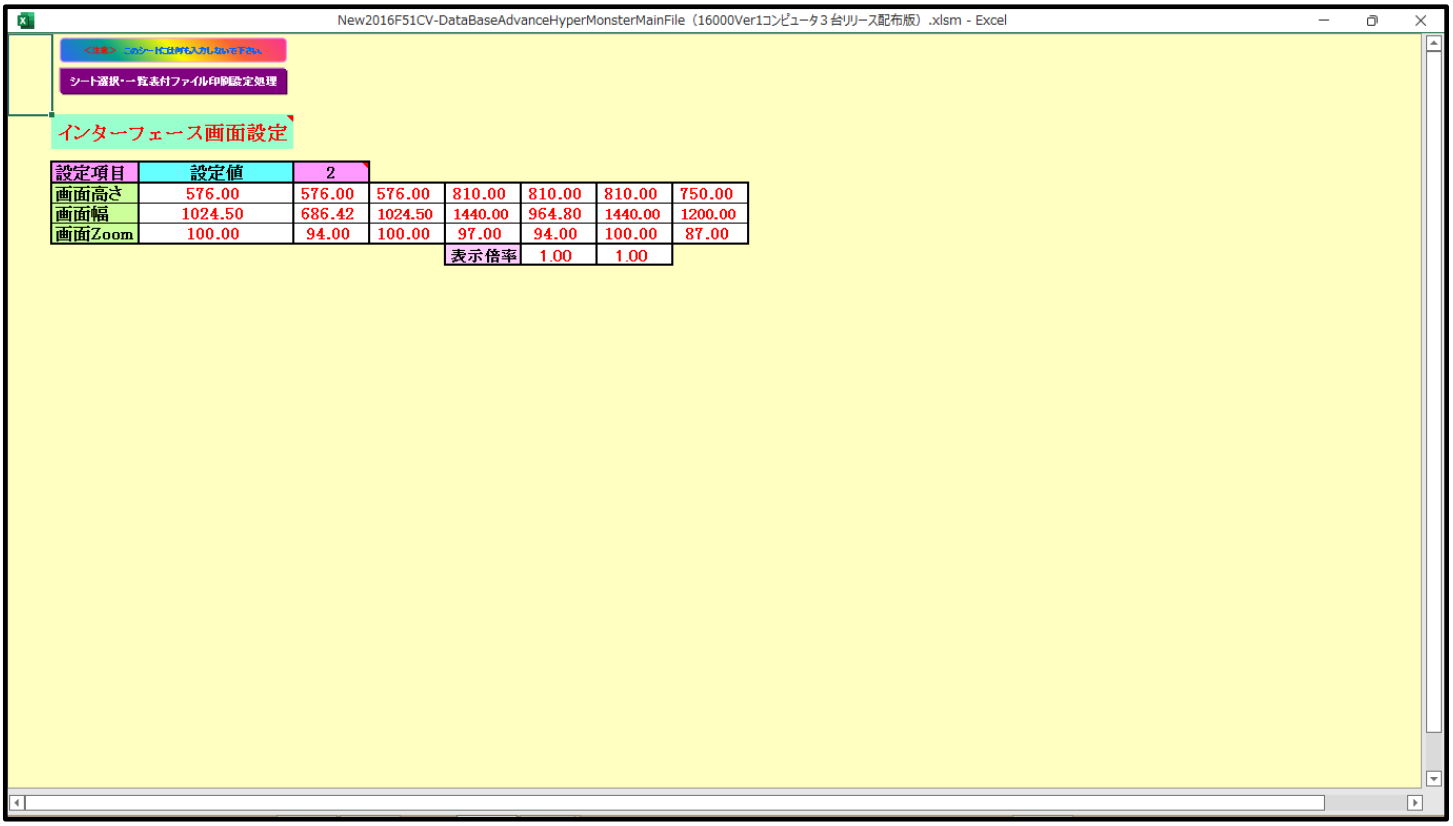
上の[図２８]画面の状況でコマンドボタン シート選択･一覧表付ファイル印刷設定処理 をクリックすると、次の[図２９]画面のようになってしまいます。

[図２９]

上の[図２９]画面ではユーザーフォームの横幅がかなり狭くなっており、編集しづらくなってしまいます。

更に、[図２８]画面のセル 1 の値を 2 に変更し、次の[図３０]画面のようにします。

[図３０]



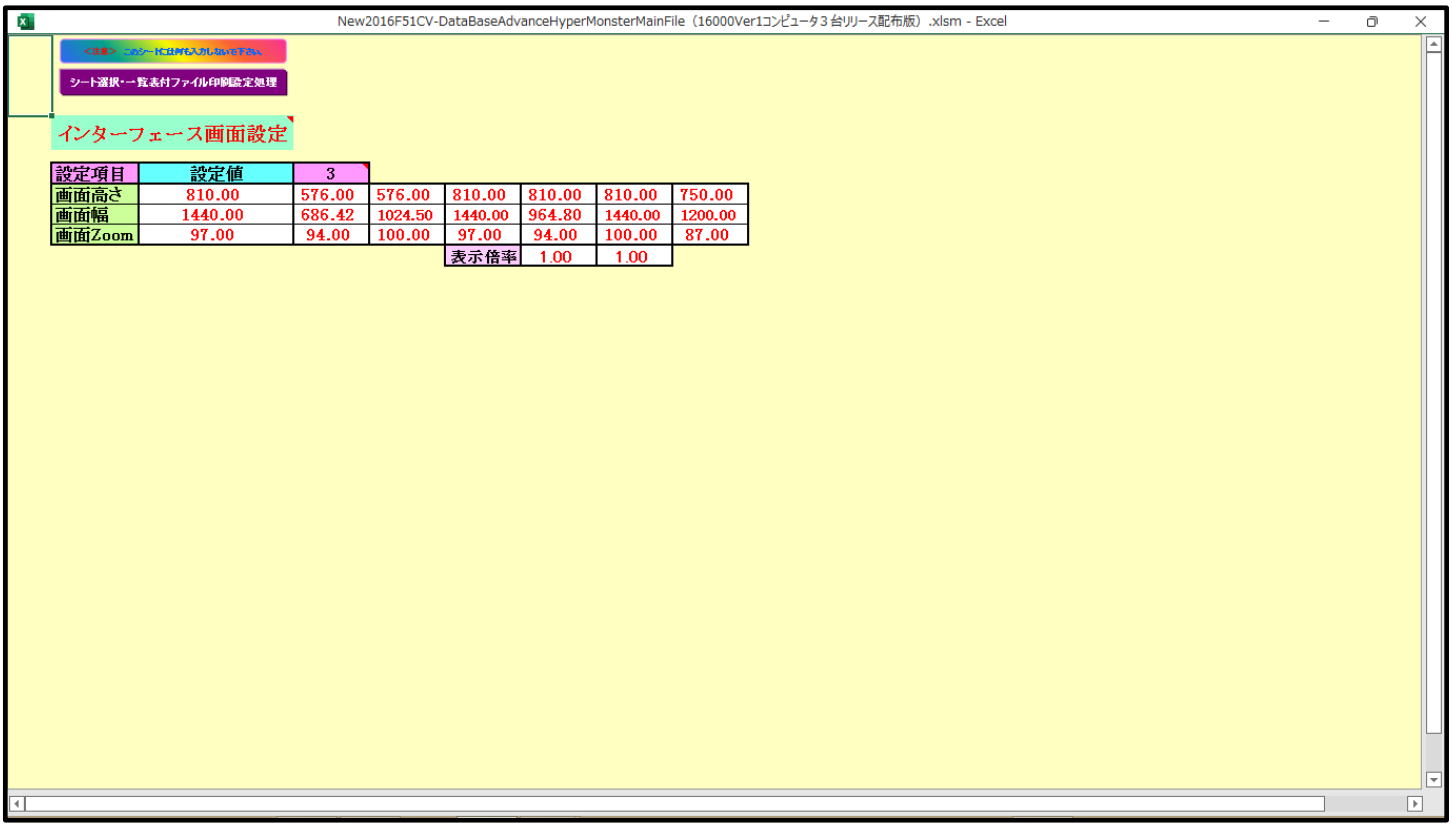
上の[図３８]画面の状況で[図３０]画面のコマンドボタン シート選択･一覧表付ファイル印刷設定処理 をクリックすると、次の[図３１]画面のようになります。

[図３１]

上の[図３１]画面のユーザーフォームの表示は正常なります。

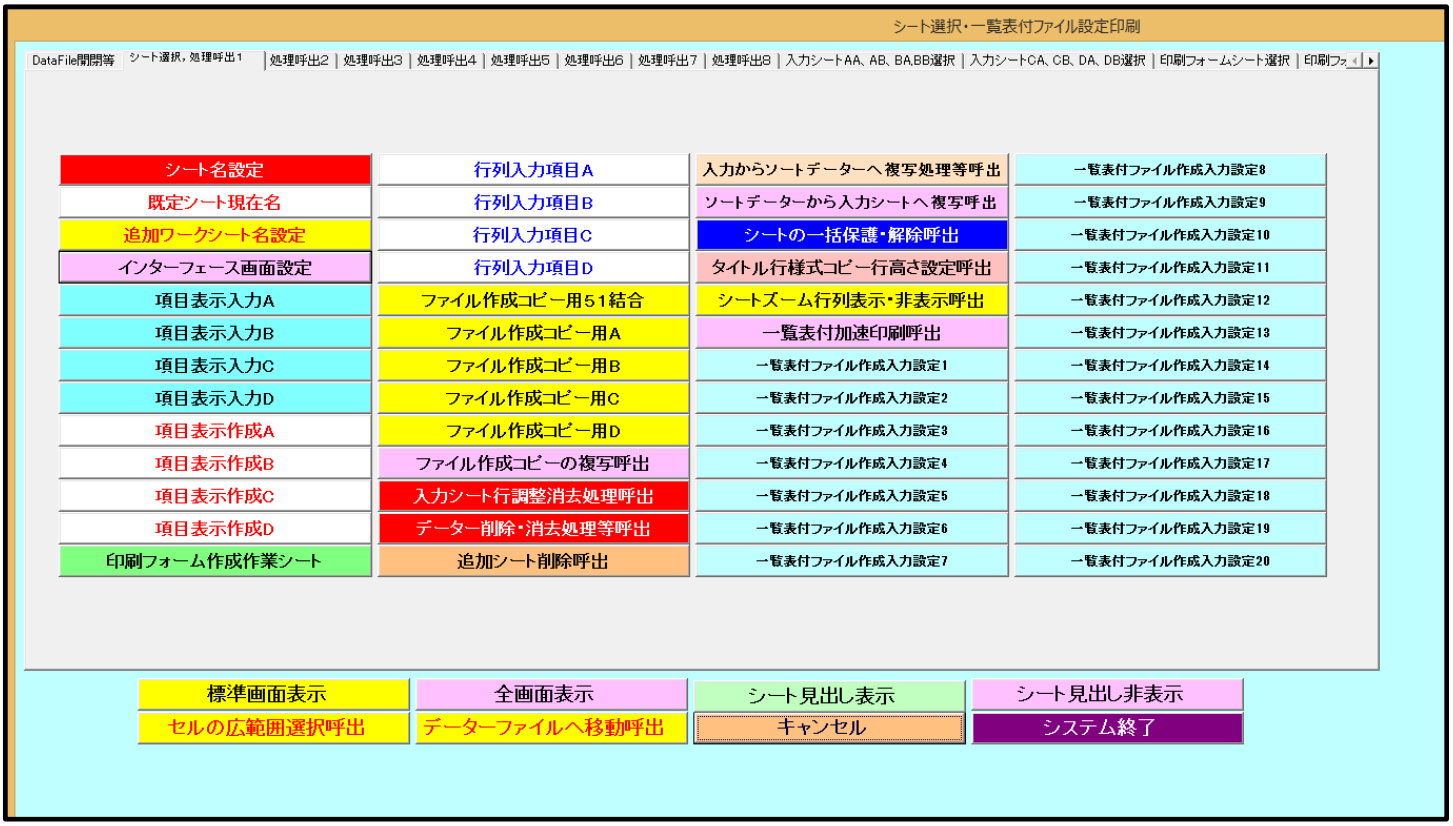
そして更に、上の[図３０]画面のセル 2 の値を 3 に変更し、次の[図３２]画面のようにします。

[図３２]



上の[図３２]の画面の状況で、[図３２]の画面のコマンドボタン シート選択・一覧表付ファイル印刷設定処理 をクリックすると、次の[図３３]の画面のようになります。

[図３３]



上の[図３３]の画面のユーザーフォームの表示は、正常な表示よりもやや小さいですが、それでもかなり正常な表示に近い表示となります。デフォルトではこのような設定になっています。